saŭc / 酱 / ソースを示す代表的な簡体字。日本語の「醤」と対応し、意味連想が容易 / 1文字で済むため学習コストは比較的低い

1. kolbas / 香肠 / 「ソーセージ」を表す一般的な表現。「香」は日中で共通認識が得やすく、「肠」は「腸」の簡体字 / 2文字だがいずれも頻出字であり、学習コストは許容範囲
2. sofi / 索菲 / 「ソフィア」の音訳例。標準的には「索菲亚」だが、2文字に省略 / 「索」「菲」はどちらも比較的よく使われる字であり、学習負担はそれほど大きくない
3. seraf / 炽天使 / セラフィム（最高位の天使）の漢訳表現。中国語の宗教・神学文献で広く通用 / 3文字だが「天」「使」はほかの語にも転用しやすく、部分的に学習コストを分散可能
4. sofist / 诡辩家 / ソフィスト＝「詭弁家」の意訳で、中国語における一般的な用法 / 3文字だが意味が明確かつ標準的表現であり、中国語話者には通じやすい
5. sifon / 虹吸管 / サイフォンを指す一般的名称。「虹吸」はサイフォン作用の意味 / 3文字だが「虹」「吸」「管」はいずれも頻用字で応用範囲が広い
6. safir / 蓝宝石 / サファイアの一般的表記。「蓝」は青色、「宝石」は宝石全般を意味 / 3文字すべて常用字であり、画数・頻度ともに学習コストは比較的抑えやすい
7. safran / 番红花 / サフランの代表的名称。「藏红花」もあるが、こちらのほうが画数が少なく馴染みやすい / 「番」「红」「花」は比較的学習しやすい常用字
8. sagu / 西米 / サゴ粉・サゴの一般的名称として定着 / 2文字で簡潔、どちらも馴染みやすい常用字
9. samovar / 萨莫瓦 / サモワールの音訳表記として広く使われる / 3文字だが外来語音訳にしばしば登場する字が含まれ、転用面でもメリットがある
10. puding / 布丁 / プディングの一般的な表記（音訳）。日常的にもよく見かける / 2文字で簡明、「布」「丁」も使用頻度が高く学習しやすい
11. fronton / 山花 / ペディメントに対する建築用語の1つ。三角形部分の装飾を指す / 2文字かつ画数も少なく、他への転用が容易
12. pepsin / 胃蛋白酶 / ペプシンを表す生化学用語で、中国語の標準的な呼称 / 4文字だが専門用語として確立しており、理解・共有が容易
13. pfenig / 芬尼 / ドイツ旧貨幣「ペニヒ」の音訳表現 / 2文字で簡潔、外来語表記に使われる字として認知しやすい
14. penc / 便士 / ペンス（イギリスの小銭）を指す一般的名称 / 2文字でわかりやすく、どちらも常用字
15. fusten / 粗斜纹棉布 / ファスチアンを指す代表的な中国語訳（文字通り「粗い斜め織の綿布」） / 長めだが意味が明確。各字の組み合わせにより他の織物表現にも応用が利く
16. pistak / 开心果 / ピスタチオの一般的表記。直訳すると「ハッピーな果実」 / 3文字すべて常用度が高く、学習コストは比較的低め
17. mastik / 腻子 / 建築などで使うパテ（油灰）を指す常用表現 / 2文字で簡潔。「腻」は「膩」の簡体字だが常用度が高い
18. patos / 激情 / パトス（強い感情・情熱）の意を端的に示す語 / 2文字で情緒性を示すのに便利かつ覚えやすい
19. piŝt / 活塞 / ピストンの通称。機械部品などで広く使われる / 2文字いずれも常用字で、他の用途（活〜、塞〜）にも派生しやすい
20. punĉ / 潘趣酒 / パンチ（ポンス）という酒類を表す標準的な音訳 / 3文字だが外来語としては定着済みで、応用上の混乱は少ない
21. pistol / 手枪 / ピストルの一般的呼称 / 2文字、かつ「手」「枪」は頻用字であり覚えやすい

piastr / 币 / 通貨単位であるため「币」に統一 / 他の通貨系語根とも共有し、学習コスト低減

* gutaperk / 木 / 樹木由来(ラテックス)ゆえ「木」に / 単純かつ画数も少ない
* kopek / 币 / 通貨単位であるため「币」に統一 / piastr と同じく「币」のみ再利用
* tapiok / 草 / イモや根茎系(キャッサバ)由来の澱粉だが、ひとまず「草」で / 単一字に集約
* lupol / 草 / ビール原料のホップ(草本)なので「草」 / ハーブ系含め草で一括
* hisop / 草 / ヒソップ(ハーブ)なので「草」 / 上付き文字等で識別
* anagal / 花 / ルリハコベ(小花をつける)で「花」扱い / 花を総称する字でまとめる
* tulip / 花 / チューリップ(代表的な花) / 「花」一字ならイメージしやすい
* leontod / 花 / タンポポ(花として認知されやすい) / 他の花とも共通化
* opal / 石 / 宝石(鉱物)なので「石」 / 次項トパーズとも共通化
* topaz / 石 / トパーズ(鉱物)なので「石」 / opal と同様
* papirus / 草 / パピルス(草本・紙の材料) / 便宜上「草」に集約
* petrosel / 草 / パセリ(ハーブ)は草本 / herb はすべて「草」へ
* paĉul / 草 / パチョリ(ハーブ) / 同上
* asparag / 草 / アスパラガス(野菜) / まとめて「草」
* pastinak / 草 / パースニップ(根菜) / 同上
* lod / 半两 / 半オンスの意を直感的に示す / (「半」「两」は画数少なめで常用)
* unc / 两 / オンスの意に準用 / 実際の「両」とは重量が異なるが便宜上採用
* litr / 升 / リットル = 容積の単位として / 中国語「升」と同形でわかりやすい
* singular / 单 / 単数 = 「单」 / 日本語「単」、中国語「单数」ともに連想可
* rism / 令 / 紙の連(500枚など)を指す単位を「令」で代用 / 印刷用語で通じやすい
* verst / 里 / ロシアの距離単位ベルスタを「里」として借用 / 距離概念で共通

buŝel / 蒲式耳 /

* + 理由: 中国語では「bushel」を表す一般的な音訳表記。「蒲式耳」は辞書・文献等で確認できる標準的な単位表記。
  + 学習コスト: 3文字だが、計量単位としてはやむを得ず正式名を採用。「式」「耳」は他単位表現にも登場する可能性があるため、ある程度の汎用性あり。「蒲」は少々画数多め。

1. fut / 英尺 /
   * 理由: 「foot(フィート)」の中国語表記としては「英尺」が最も明確。1文字の「尺」だと中国の尺(約 33cm)との混同が生じやすい。
   * 学習コスト: 2文字かつ常用漢字。「英」は「英語」「英国」などで学習機会が多く、「尺」も画数が少なく比較的とっつきやすい。
2. stof / 布 /
   * 理由: エスペラント「stof」は「布地」「織物」「材料」などを指すことが多く、中国語「布」は「布地」「布帛」を意味し、イメージが近い。
   * 学習コスト: 1文字・画数も少なく、汎用性（“布告”など他の熟語でも使用）も高い。
3. kilogram / 千克 /
   * 理由: 中国語で SI 単位の「キログラム」を示す最も標準的な表記のひとつ。「公斤」も一般的だが、後述の「克 (gram)」との関連で「千克」がシンプル。
   * 学習コスト: 2文字で「千」と「克」。このあと「gram = 克」を割り当てるため、文字の使い回しが可能。
4. gram / 克 /
   * 理由: 中国語で「グラム」を示す正式な漢字表記。上記「千克」との組み合わせで一貫性がある。
   * 学習コスト: 1文字。「千克」の「克」と同じなので重複利用できる。
5. funt / 磅 /
   * 理由: 中国語における「ポンド(pound)」表記として広く使われる単一漢字。「英磅」とも言うが、1文字で済むのでこちらを優先。
   * 学習コスト: やや画数は多いが、重量単位として標準的。
6. tun / 吨 /
   * 理由: 中国語簡体字で「トン(ton)」を表す標準的な書き方。
   * 学習コスト: 1文字・比較的よく目にする単位漢字。
7. hektar / 公顷 /
   * 理由: 「ヘクタール」の中国語表記として標準的(1公顷=1ヘクタール)。
   * 学習コスト: 2文字。「公」は頻出するため汎用性が高い。「顷」は“わずかに画数が多め”だが、土地面積を示す語としては一般的。
8. ŭat / 瓦 /
   * 理由: 中国語で電力単位「ワット(watt)」は簡体字で「瓦」と音訳するのが通例。
   * 学習コスト: 1文字・画数も少なめ。元来「瓦」は「瓦(かわら)」の意味だが、単位表記として定着している。
9. karat / 克拉 /

* 理由: 中国語で「カラット(carat)」を音訳した一般的表記。「克」を再利用できるため学習効率も良い。
* 学習コスト: 2文字で「克」は既出、「拉」は新出だが画数(8画)は極端に多くない。

1. kozak / 哥萨克 /

* 理由: 「コサック」の標準的な中国語音訳。
* 学習コスト: 3文字。やや画数の多い「萨」も含むが、人名・民族名などの固有表現としては一般的。「克」は既出。

1. kaka / 可可 /

* 理由: 「ココア」を意味する中国語表記。「可可豆(ココア豆)」の略称としても自然。
* 学習コスト: 同じ文字を重ねる 2 文字構成。「可」は画数も少なく汎用的。

1. koaks / 焦炭 /

* 理由: 「コークス(coke)」を示す中国語として最も一般的な呼称(冶金用語)。
* 学習コスト: 2文字だがやや画数多め。「焦」(12画)、「炭」(9画)。ただし専門用語なので仕方ない面もある。

1. blat / 蟑螂 /

* 理由: ゴキブリを指す中国語の一般名。
* 学習コスト: 2文字とも虫偏でやや画数多め。「蝗(イナゴ)」などと混ざりやすいが、ゴキブリ表現としてはこれが定着。

1. tindr / 火种 /

* 理由: 「ほくち / tinder (火口)」に相当する表現で、中国語では「火種」「火种」が「火を起こす元」として適切。
* 学習コスト: 2文字だが「火」は画数 4 と少なく、「种」(9画)も比較的汎用語(“种子”など)で学習しやすい。

1. kork / 软木 /

* 理由: 「コルク」を素材として指す場合、中国語で最も一般的なのが「软木(=soft wood)」。
* 学習コスト: 2文字。「软」は 8 画、「木」は 4 画と少なめ。「木」は他で再利用の可能性大。

1. kran / 龙头 /

* 理由: 「faucet, tap(コック)」を日常的に指す中国語は「水龙头」。短縮して「龙头」とも。
* 学習コスト: 2文字。どちらも初出だが、日常語で汎用性があり(“龙”は「ドラゴン」などで馴染みもある)。

1. mazurk / 玛祖卡 /

* 理由: 「マズルカ(mazurka)」の音訳表記として「玛祖卡」が一般的。
* 学習コスト: 3文字。いずれも音訳に用いられる漢字で汎用性はやや低いが、固有名詞としては自然。

1. gazel / 羚羊 /

* 理由: 「ガゼル(gazelle)」は正確には「瞪羚」だが、画数の少ない「羚羊(=アンテロープ)」の方が汎用的・通俗的。
* 学習コスト: 2文字。「羊」は既知の漢字として理解しやすく、「羚」も 8 画で比較的少なめ。

1. zizel / 地松鼠 /

* 理由: 「ジゼル(zizel)」=「ススリク(suslik)」は地上性リスの一種。厳密な学名訳は細分されるが、総称的に「地松鼠」が比較的通じやすい。
* 学習コスト: 3文字。動物名で特殊性が高いため、未対応にしても良いが一応一般的な呼び方を示した。

1. ŝarad / 字谜 /

* 理由: 「charade(シャレード)」を指す場合、「字謎 / 猜字谜」と表現されることが多い。ここでは簡潔に「字谜」。
* 学習コスト: 2文字。「字」は初級学習でも扱う常用、「谜」(“謎”の簡体)はやや画数多めだが一般的。

1. fars / 闹剧 /

* 理由: 「ファルス(=笑劇, farce)」に相当する中国語が「闹剧」。
* 学習コスト: 2文字。「闹」は 8 画、「剧」は 8 画。演劇関連用語としては標準的。

skerc/乐曲/スケルツォは「軽快な(滑稽な)楽曲」の一種として扱いやすい/「乐」「曲」は画数・頻度とも比較的学びやすく、日本語の「楽曲」とも通じる

citr/琴/チターは弦楽器の一種と捉え、「琴」で総称/シンプルな1文字で、日中双方になじみがある

vist/牌/ホイストはトランプ遊びなので「牌(カード)」で代用/幅広く「カード」や「札」を指す常用字で、学習コストが低い

gamaŝ/护腿/ゲートル(脚を覆う布)のイメージで「護+腿」/「护」「腿」は単語としての結合も自然で、他の衣類関連などにも転用しやすい

georg/乔治/男性名ジョージの一般的音訳/既存の中国語表記そのままで、国際人名にもよく用いられる

jaguar/美洲虎/ジャガーを指す標準的表記/「美洲(アメリカ大陸)＋虎」で認知度が高い

gaz/纱布/ガーゼの一般的中国語/「纱」「布」は日常で目にする字で、画数や頻度の面でも比較的学びやすい

zigzag/之字形/ジグザグ形状を示す常用表現/シンプルな3文字で、形状がイメージしやすい

flag/旗/旗を意味する基本の1文字/日中どちらの言語でも「旗」と読み、視覚的連想もしやすい

standard/旗/軍旗や国旗も含め「旗」を再利用/同じ漢字を使い回すことで学習コストを抑制

emblem/徽/表徴(エンブレム)のイメージに用いられる字/「徽章」等でも用いるため、後続の語とも関連づけやすい

insign/徽章/記章・バッジの意味で既に定着した表記/「徽」+「章」の組合せは標準的で、emblemとの関連づけも容易

blazon/纹章/紋章(coat of arms)の定訳/「纹」(模様)＋「章」で、他の「章」との共通性もある

deviz/座右铭/座右の銘の一般的中国語表記/成語としても認知度が高いが、やや画数多めなので必要最小限の使用に留めたい

signal/信号/信号全般を指す標準的表記/「信」「号」はどちらも高頻度字で、後の単語にも転用しやすい

sign/符号/符号・しるし全般を指す常用表現/「符」「号」はやや画数があるが、数学記号などでも広く使われる

simbol/象征/象徴・シンボルの意味で最も一般的/「象」「征」は多少画数があるが、概念として定着している

mark/标记/しるし・目印としての「マーク」/「标」(目印)＋「记」(記録)で分かりやすく、ほかの単語にも応用可能

stamp/印/スタンプ・印鑑など「押すしるし」を1文字で/「印章」の簡略形として利用でき、画数も比較的少ない

buton/纽扣/服のボタンとして定着した表記/「纽」(紐状)＋「扣」(留める)で構成され、認知度も高い

brems/刹车/ブレーキを指す一般的な動詞兼名詞/「刹」「车」はよく使われる組合せで、他の交通関連でも活用しやすい

meĉ/灯芯/ランプやろうそくの芯/「灯」「芯」は常用で、学習しやすい組合せ

broĉ / 胸针 / ブローチを表す最も一般的な中国語表現の一つ。「胸(胸部)＋针(針)」でイメージしやすい /  
「胸」は日本語でも「胸部」でおなじみ、「针」は「針」と同源であり、将来的に「針」の概念にも転用しやすい。二文字だが比較的分かりやすく、学習コストは許容範囲。

1. bracelet / 手链 / 腕飾り(ブレスレット)を指す日常的な表現として「手链」が一般的。「手(手)＋链(鎖)」で“腕に巻くチェーン”の感覚 /  
   「手」は今後も多用される基本漢字、「链」は後述の鎖(チェーン)にも使う見込みがあり、他の語根「ĉen」などと共通化できるため学習コストを抑えられる。
2. buk / 带扣 / ベルトなどの「バックル」を示す表現。「带(帯)＋扣(留め具)」で「ベルトの留め金」のニュアンス /  
   「带」は後述の「zon」「kravat」「rimen」にも登場するため再利用可能。「扣」は後述の「vinkt」でも流用し、学習コストを抑えられる。
3. bandaĝ / 绷带 / 包帯を表す標準的な語。「绷带」がもっとも一般的で「包帯」に近いイメージ /  
   「绷」はやや画数が多いが、他に適切な一字表現が少なく、実際の中国語でも「绷带」が定着している。後半の「带」は既出で学習コストを軽減。
4. zon / 腰带 / 「腰(腰)＋带(帯)」で腰に巻く帯、つまり「ベルト」の標準表現 /  
   「带」は既出。「腰」は日本語にも「腰」がありイメージしやすい。二文字だが、直感的な組み合わせなので学習負荷は比較的低い。
5. kravat / 领带 / 「ネクタイ」は中国語で「领带」が基本。「领(首まわり)＋带(帯)」 /  
   「带」は再利用。「领」は日本語でも「襟(えり)」などに近い概念で、首周りを連想しやすい。二文字だが非常に一般的で、学習コストは高くない。
6. rimen / 皮带 / 「皮(革)＋带(帯)」で皮のベルト・ストラップを意味。皮紐にも相当 /  
   「带」は既出。「皮」は「皮膚」「皮革」など日中で共通する概念。二文字構成だが、いずれも初級レベルで理解されやすい漢字。
7. maŝ / 网 / 「網」「メッシュ」全般を指す意味合いとして簡易かつ汎用性のある単一字「网」を採用 /  
   画数4～5程度(部首「冂＋乂」や「丿」などの組み合わせ)と少なく、ネットやメッシュを連想しやすいため学習コストは比較的低い。
8. lig / 联 / 結ぶ・繋ぐ・連合する等の抽象概念を含むため、「联」(つながり・団結)を単字で充てる /  
   本来「连」(連)も選択肢だが、「連盟」などを考慮すると「联」の方が「联盟」とセットで使う場面が多く、学習コストを下げやすい。
9. lig## / 联盟 / 「連盟」を表す代表的な熟語。前項「联」と「盟」(同盟)の組合せで「联盟」 /  
   既出の「联」を活用。「盟」は新規だが、日中ともに“同盟”の意味があり、今後の国際関係などの語彙でも再利用する可能性がある。
10. ĉen / 链 / 「鎖」「チェーン」を指すもっとも直接的な一字。口語でも「链子」と呼ぶが、単字「链」だけでも通用 /  
    すでに「手链」(ブレスレット)で使っているため学習コストを抑えられる。金属偏(钅)なので関連語にも発展可能。
11. kroĉ / 钩 / “引っ掛ける”動作や「フックで固定する」意味に近い。「用钩挂」などの使い方を想定 /  
    画数は比較的少なく、後述「hok」(名詞としてのフック)との重複利用も可能。区別は上付き文字等で対応予定。
12. katen / 手铐 / 足枷や手錠など束縛全般を指す「枷鎖」系の語だが、簡易表現として「手铐」(手錠)を採用 /  
    「手」は既出。「铐」は新規だが「金属＋考」の組み合わせで覚えやすい。実際の会話でも「手铐」は頻出で理解されやすい。
13. ankr / 锚 / 錨を意味する最も一般的な単一字。「金属＋苗」で“船の碇”を連想 /  
    画数はやや多め(合計9～10)だが、標準的な単語として覚えやすい。別の一文字表記は無いため妥当。
14. vinkt / 卡扣 / 「留め金」「クリップ」「リベット風」の留め具全般を指せる便利な組合せ。「卡(か)＋扣(こう)」 /  
    すでに「扣」は(3)の「带扣」で導入済み。新たに「卡」(挟む/カード)を追加するが、比較的頻度が高く、学習コストは許容範囲内。
15. hok / 钩 / “鉤”としての名詞的用法。12番「kroĉ」と同じ字を再利用 /  
    「名詞としてのフック」と「動詞としてフックで引っ掛ける」を同一漢字で表現し、後に上付き文字等で区別予定。学習コスト削減に寄与。
16. nod / 结 / 「結び目」「結ぶ」の核心要素として「结」を一字割当 /  
    簡体字の「结」は日本語「結」と同系統のイメージが掴みやすい。画数9程度で、常用頻度も高く学習しやすい。
17. kondiĉ / 条件 / 「条件」「条項」の意味で、実際の中国語でも一般的な二字熟語 /  
    「条」「件」の組合せは中国語学習でも初級レベルで登場。両字とも汎用度が高く、同時に導入してもコストは大きくない。
18. kondicional / 条件式 / 文法的な「条件法・条件文」を指す場合、「条件＋式」が自然。「条件句」「条件时态」も可 /  
    「式」は日本語「式」と同源で分かりやすく、数学・文法用語など汎用性も高いため学習コストは低め。
19. solid / 固体 / 物理でいう「固体」を表す標準二字熟語。「固(かたい)＋体(からだ)」の直感的な組合せ /  
    後述の「固定」と同じ「固」を用いるため、学習コストを軽減可能。どちらも初級～中級レベルで理解しやすい。
20. fiks / 固定 / “固定された、変わらない”の形容詞的用法や概念としては「固定」が妥当 /  
    「固」は「固体」と共通で、合わせて覚えやすい。「定」は頻出漢字(決定、安定 など)のため再利用性が高く、コストは低め。
21. fiks## / 固定 / “～を固定する”動詞としても、中国語は名詞・形容詞・動詞の区別が同形で機能することが多い /  
    エスペラントの派生語尾による品詞区分は、ここでは同じ「固定」に上付き文字などで区別予定。追加の学習負荷はほぼない。

metropol / 都市 / 「大都市」「都会」に相当し、中国語・日本語双方で意味が取りやすい / 「都(11画)」と「市(5画)」を再利用可能にする

1. komun/um## / 社区 / 現代中国語で「コミュニティ」を指す標準的な語。日本語話者にも「社区」で「地域コミュニティ」を連想可能 / 「社(7画)」「区(4画)」はいずれも汎用性が高く、他の語根にも転用しやすい
2. urb / 市 / もっとも画数が少なく、「都市」「市町村」の「市」を直接表す文字として認知されやすい / すでに「都市」「社区」など他の語でも「市」や「区」を使う可能性があり重複使用が容易
3. civit / 城邦 / 「city-state(都市国家)」を直接表す熟語。中国語・日本語双方で歴史用語などから連想可能 / 「城(9画)」「邦(6画)」はいずれも後述の「联邦(連邦)」「邦联(邦連)」などと部品が重複
4. land / 国 / 国・国土を指す最も基本的な漢字 / 8画とやや多めだが、中国語圏・日本語圏いずれでも非常に頻出し覚えやすい
5. ŝtat / 国 / 「国(国家・政府)」の意味合いが強く、同じ漢字の再利用で学習コスト削減 / 上付き文字などで後区別予定
6. regn / 国 / 「法的な国家」の意にも使えるため、同一漢字で再利用 / 同じく区別を付与して対応可能
7. respublik / 共和 / 「共和制／共和国」の核心部分を表す2文字(“共和”)。日本語・中国語双方で「共和」と言えば「共和国」を容易に想起 / 「共(6画)」「和(8画)」は他でも転用可能
8. federaci / 联邦 / 中国語で「連邦」を意味する最も代表的な表現 / 「联(7画)」「邦(6画)」で、すでに「城邦」「邦联」と重複して学習コストを抑えられる
9. konfederaci / 邦联 / 「邦」と「联」を入れ替えた形で「邦連(＝連合体・同盟)」を表す既存の中国語表現 / 「federaci」(联邦)と同じ2字で構成(順序のみ逆)
10. mond / 世界 / 最も標準的で直感的な「世界」を示す熟語 / 「世(5画)」「界(9画)」は日本語圏でも馴染み深い
11. cirkonstanc / 状况 / 「状況・事情」を表す中国語の一般的な2文字語 / 「状(7画)」「况(7画)」は「状態」「况且」など他形にも展開しやすい
12. medi / 环境 / 中国語で「環境」を指す標準語。日本語圏でもほぼ同義を推測可能 / 「环(7画)」「境(14画)」の2字はやや画数は多いが、他の文脈でも使い回しやすい
13. ter / 土 / 「土地」「大地」を示す最短1文字 / 最小画数(3画)で日本語でも直感的に「土」と読める
14. grund / 地 / 「地面」「地盤」を表す1字。中国語・日本語双方で用例が多い / 6画で比較的単純かつ頻出
15. region / 地区 / 中国語で「地域」「地方」などを意味する標準表現 / 「地(6画)」「区(4画)」は既出の文字で構成
16. teritori / 国土 / 「国家の領土」「国の土地」をまとめて表す2文字熟語 / 「国(8画)」「土(3画)」いずれも既出
17. bien / 地产 / 中国語で「不動産(リアルエステート)」を指す語として認知される / 「地(6画)」既出+「产(6画)」新規だが他の語(生产, 产物など)に展開可能
18. teren / 场地 / 「(特定用途の)敷地」「会場」を意味。中国語・日本語圏いずれも推測しやすい / 「场(6画)」「地(6画)」いずれもわりと頻繁に用いられる
19. stat / 状态 / 「状態」「ステータス」を意味する標準2文字 / 「状(7画)」既出+「态(8画)」は新規だが「心态」「生态」などでも使われる
20. situaci / 状况 / 「状況」「事態」を表す表現として(cirkonstanc同様)再利用 / 同じ2字を使い回すことで学習コストを低減
21. lok / 地 / 単一字で「場所・地点」の意をカバー。厳密には「地」単独だと文脈次第だが、上付き文字などで区別を付ければ対応可能 / 既出漢字ゆえ追加学習コストなし

ej / 所

* + 選定理由: 「場所」を意味するシンプルな漢字。「場所」「施設」「～するところ」などのニュアンスがあり、接尾辞的にも使いやすい。
  + 学習コスト: 8画だが、日本語圏でも「場所の意」として馴染みがあり、中国語圏でも頻出。他語根への転用もしやすい。

1. pozici / 位
   * 選定理由: 「位置・地位・ポジション」などを表す代表的な漢字。姿勢や社会的地位など、広く「ポジション」を表現しやすい。
   * 学習コスト: 7画で比較的覚えやすい。日本語・中国語ともに「位置」「地位」の連想が容易。
2. situ / 位
   * 選定理由: 「位置する」「ある場所にある」を表す意味としても「位」を再利用。厳密には“situ”と“pozici”でニュアンスが異なるが、同一漢字を充て、上付き文字等で区別予定。
   * 学習コスト: 既に「pozici」で使用済みのため、新規漢字追加なし。学習負担を軽減できる。
3. fak / 科
   * 選定理由: 「専門分野」「学科」を想起しやすい漢字として「科」を選択。「学科」「専攻」「分野」といった意味合いをカバーできる。
   * 学習コスト: 9画。「科学」「本科」「専科」など、日本語・中国語で共通に見られる語彙が多く、転用しやすい。
4. industri / 工
   * 選定理由: 中国語の「工业」(工業)のイメージを簡略化し、一文字「工」に集約。日本語でも「工業」「工学」など連想しやすい。
   * 学習コスト: 3画と非常に少なく、多くの複合語への応用が期待できる。
5. sektor / 部
   * 選定理由: 「部門」「部署」などの“セクター”に近い意味を担う。「部」は日本語でも「部門」「学部」などで使われ、セクターの感覚に近い。
   * 学習コスト: 10画だが、日本語・中国語ともに頻出のため、意味連想しやすい。
6. jar / 年
   * 選定理由: 「年」を表す最も基本的な漢字。
   * 学習コスト: 6画とシンプル。日本語・中国語いずれでも頻出し、覚えやすい。
7. sezon / 季
   * 選定理由: 「季節」の「季」。日本語でも「四季」、中国語でも「季节」で共通認識が得やすい。
   * 学習コスト: 8画。単独でも「季節」を連想しやすく、汎用性もある。
8. generaci / 代
   * 選定理由: 「世代」「代替」など、「時代」や「世代交代」をイメージしやすい漢字。「一代」「次世代」など日本語・中国語双方で使われる。
   * 学習コスト: 5画で比較的簡単。
9. aĝ / 岁

* 選定理由: 中国語で年齢を表す「岁(歲)」。日本語の旧字「歳」と同源で「～歳」のイメージを結びつけやすい。
* 学習コスト: 6画の簡体字。年齢の概念として中国語で非常に頻出。

1. epok / 纪

* 選定理由: 「时代」「世纪(世紀)」「纪元」など「時代」「紀」を含む語に用いられる。単独使用はやや抽象的だが、「時代・時期」のニュアンスが伝わりやすい。
* 学習コスト: 5画と比較的少ない。派生語（纪元、世纪など）で応用可能。

1. felieton / 专栏

* 選定理由: 新聞や雑誌の「(特別)連載コラム」「文化欄」のニュアンスとして「专栏」が比較的近い。
* 学習コスト: 2文字ではあるが、「专(専)」4画 +「栏(欄)」9画 = 13画程度。いずれも比較的よく使われる簡体字で、日本語でも「専」「欄」は類推しやすい。

1. ĉapitr / 章

* 選定理由: 「章」は日本語で「章・文章の区切り」、中国語でも「章节」で章を指す。
* 学習コスト: 11画。書籍や法律など各種文書で頻用され、認知度が高い。

1. paragraf / 段

* 選定理由: 「段落」「段階」など、「区切り」「パラグラフ」を示すときに使いやすい。
* 学習コスト: 9画。単語としても「段落」は日中で共通し、わかりやすい。

1. tekst / 文

* 選定理由: 「本文」「文章」「テキスト」全般を表せる、非常に基本的な字。
* 学習コスト: 4画。日本語の「文化」「文学」、中国語の「文本」「文化」など派生多数。

1. artikol / 文章

* 選定理由: 新聞・雑誌の「記事」「論説」を表せる。「文 + 章」の組合せは日中ともに「文章」で通じやすい。
* 学習コスト: どちらも既出(「文」「章」)のため、新規漢字なし。

1. artikol## / 冠词

* 選定理由: 文法用語としての「冠詞(定冠詞・不定冠詞)」。中国語で「冠词」と言う。
* 学習コスト: 「冠(9画)」「词(8画)」はいずれもやや専門用語気味だが、文法学習では頻出。

1. tem / 题

* 選定理由: 中国語の「题目」(題目)や「主题」(主題)で「話題」「テーマ」を表す場合に使われる字。
* 学習コスト: 8画。「問題文のタイトル」「テーマ」など、日中ともに比較的連想しやすい。

1. subjekt / 主体

* 選定理由: 「主体」「主語」「主体的な立場」など、「主となるもの」を広く表す。文法的「主語」に近いのは「主语」だが、本項ではより汎用的な「主体」を選択。
* 学習コスト: 2文字ではあるが「主(5画)」「体(7画)」ともに非常に基本度が高い。

1. problem / 问题

* 選定理由: 「問題」「トラブル」「質問」と広義にカバーできる中国語の代表的表現。
* 学習コスト: 「问(6画)」は今回新出だが、「题」は既出(#18)。新聞・会話などで極めて頻出。

1. kaz / 格

* 選定理由: 文法用語で「格」を直接指す際に使われるほか、「案件」「案例」など「case」を連想させる側面もある。
* 学習コスト: 10画。日本語でも「文法格」「資格」「格式」などで馴染みがあり、それほど難しくない。

1. part / 分

* 選定理由: 「部分」「分割」「配分」「分ける」など、全体の一部分を表す際の基本漢字。
* 学習コスト: 4画と少なく、日本語の「分割」「一部分」、中国語の「部分」「分配」などで認知度が高い。

porci / 分 /  
選定理由: 「分」は「分ける・割り当てる」という意味を持ち、ポーション(割り当て)・シェアを連想しやすい。  
学習コスト: 画数は4画と少なく、「分」は日本語でも中国語でも基本的な字のため初学者にも比較的馴染みやすい。

1. procent / 百分 /  
   選定理由: 中国語で「パーセント」は「百分之～」「百分比」など「百分」が頻用される。日本語圏でも「百％」のイメージで理解しやすい。  
   学習コスト: 「分」は既出(1で使用)。「百」(6画)も比較的画数が少なく、意味が直感的(100)であるため導入しやすい。
2. proporci / 比例 /  
   選定理由: 「比例」は「比率・割合」を表す標準的な語。単独の「比」よりも「割合・比率」という名詞としてわかりやすい。  
   学習コスト: 「比」(4画)と「例」(8画)の2字だが、日本語・中国語とも「比例」の組み合わせは基本的で、意味が取りやすい。
3. etaĝ / 层 /  
   選定理由: 簡体字で「楼层(～階)」の「层」がそのまま「階・フロア」の意味を指す。  
   学習コスト: 7画。日本語の「層」の簡体字形であり、中国語では「○层」で「○階」の意味となるため直感的に階層を連想しやすい。
4. tavol / 层 /  
   選定理由: 「層・レイヤー」も中国語では「层」で表すため、4のetaĝ(階)と同字を流用し学習コストを下げる。  
   学習コスト: 同一漢字(层)を流用することで、新たな漢字を増やさずに済む。
5. faz / 相 /  
   選定理由: 物理などで位相を指す「相位／位相」の「相」を用い、「phase(相)」の概念を示しやすい。  
   学習コスト: 9画だが単独1字で「相(位相)」を示せるのでコンパクト。日本語でも「相(そう)」に「相対」「相位」など派生を連想できる。
6. ŝtup / 阶 /  
   選定理由: 簡体字の「阶」は「段差・ステップ」を意味し、階段の段(ステップ)として自然。  
   学習コスト: 6画と少なく、「台阶(階段)」などにも含まれる字で馴染みやすい。
7. stadi / 阶段 /  
   選定理由: 「段階・ステージ」を表す標準的な語。「阶段」は中国語で「ステージ・段階」の意。  
   学習コスト: 「阶」は7で既出、新たに「段」(9画)のみ導入。2字熟語だが意味が明確でわかりやすい。
8. grad / 度 /  
   選定理由: 「degree(度)」を表す基本漢字。「温度」「角度」「程度」など幅広い派生を想起しやすい。  
   学習コスト: 9画。日本語でも「温度」「度合い」など、度(ど)の概念が直感的に理解できる。
9. rang / 级 /  
   選定理由: 「等级(ランク・グレード)」などに用いられ、「rank/grade」を表す時に使われる代表的な簡体字。  
   学習コスト: 6画。日本語の「級」に相当し、段級位制など「級」を連想しやすい。
10. polic / 公安 /  
    選定理由: 中国で警察を指す代表的な語が「公安(公の安寧を守る)」。日本語でも「公安警察」という言い方があり馴染みはある。  
    学習コスト: 「公」(4画) + 「安」(6画) = 10画相当。単字の「警」は画数が多すぎるため2字熟語のほうが無難。
11. ministeri / 部 /  
    選定理由: 中国語で中央政府の各「部(省庁に相当)」を表すときの基本字。例:「外交部」「教育部」など。  
    学習コスト: 10画。日本語の「部」感覚とも近い(部署、部門など)。シンプルに1字化。
12. departement / 部门 /  
    選定理由: 「department」を表す標準的な語が「部门」。すでに「ministeri=部」を使っているので、そこに「门」を付けて「部門」。  
    学習コスト: 「部」は12で既出、新規は「门」(3画)のみ。合計13画だが2字熟語として定着している。
13. kontor / 办公室 /  
    選定理由: 「事務室・オフィス」に相当する最も一般的な中国語表現。「办公室」。  
    学習コスト: 「办」(4画) + 「公」(4画・既出) + 「室」(9画)。3字だが意味が明確で、日中とも「公」などは既習。
14. kabinet / 内阁 /  
    選定理由: 「内阁」は中国語で「内閣・政府の最高行政機関」を指す既存の語。日本語の「内閣」とほぼ同じ意味合い。  
    学習コスト: 「内」(4画) + 「阁」(8画)。合計12画程度で済み、1字ずつも比較的理解しやすい。
15. kancelari / 办公厅 /  
    選定理由: 「chancellery(官房・公的な執務機関)」に近い表現として、中国語では「办公厅」が用いられる例が多い(～办公厅)。  
    学習コスト: 「办」(既出) + 「公」(既出) + 「厅」(4画)の3字。「厅」は比較的画数が少ない。
16. kvartal / 区 /  
    選定理由: 「市区」「行政区」などに使う「区」。都市の一区画(～区)として直感的にわかりやすい。  
    学習コスト: 4画と少なく、日本語「区」と同じく自治体区分などで用いられ、覚えやすい。
17. distrikt / 地区 /  
    選定理由: 「地区」は「区画・地域」という意味で最も標準的な二字熟語。  
    学習コスト: 「区」は17で既出、新規は「地」(6画)のみ。二字合計10画ほどで、意味が明快。
18. kanton / 郡 /  
    選定理由: 「フランスの郡」など、「郡」という行政区画は中国語ではやや古風だが「郡」で通じる。  
    学習コスト: 10画。日本語でも「郡」として使われるためイメージしやすい。
19. provinc / 省 /  
    選定理由: 中国語の「省」は「province」に相当。日本語では「省」が「内閣の省庁」も指すが、中国語では「行政区画(省)」。  
    学習コスト: 9画。日本語の「反省」「省エネ」などとも字形は同じなので一定の親和性がある。
20. guberni / 县 /  
    選定理由: 中国語で県レベル行政区を指すのが「县」。日本語「県」と同語源(簡体字化)。  
    学習コスト: 7画。日本語圏では簡体字に馴染みがないかもしれないが、画数はそれほど多くない。
21. sekci / 处 /  
    選定理由: 「科・处・室」などいずれも「部局・セクション」的な意味を持つが、画数の少ない「处」を採用。  
    学習コスト: 5画と少なく、中国語で「办事处」(事務所)などにも広く使われる字。部署や部門の一部分として理解しやすい。

fili / 支 / 「支」は「支部」「分支」などの語で「枝分かれ」や「派生」の意を示し、日中双方で「支店」「分支機構」などの連想がしやすい / 筆画(4画)が少なく、他の熟語（支隊など）にも流用しやすい

* parti / 党 / 「政党」を連想しやすい単字で、中国語でも「党（政党）」として広く使われ、日中ともに意味を把握しやすい / 画数(8画)はそこそこだが、「党」は政治関連で頻出し、日本語でも「与党」「野党」「政党」として認知されている
* trup / 团 / 劇団・軍隊・団体など「集まり」を表す単字で、中国語の「剧团」「军团」などに対応しやすい / 簡体字は「团」（6画）で比較的画数も少なく、団体を意味する汎用性がある
* rot / 连 / 中国語で軍の「～連」として「中隊」に相当し、軍隊編制を連想しやすい / 7画の単字であり、やや画数は増えるが軍用語として明確に機能する
* taĉment / 分队 / 「分遣隊」を直訳しやすい熟語。中国語でも「分队」は小規模な部隊や分隊を意味する / 「分(4画)」「队(4画)」それぞれ画数が少なく、「分」「队」とも他語根にも流用しやすい
* karusel / 转马 / 本来の標準中国語は「旋转木马」だが、簡略化して「転(回転)の馬」とし、意味を連想しやすいよう配慮 / 「转(8画)」「马(3画)」の合計11画で、比較的抑えめ
* kabriolet / 马车 / 本来はオープン型の軽馬車だが、シンプル化と再利用の観点で「馬車」一括化 / 「马(3画)+车(4画)」計7画と少なく、他馬車系語根にも使い回せる
* velociped / 单车 / 初期の自転車を指す。現代中国語圏で「単車」が「自転車」や「バイク」を指す場合もあるが、「単＝一人(または一台)で乗る車」のイメージで連想しやすい / 「单(8画)」「车(4画)」の計12画で比較的コンパクト。のちに出る「自行车」との使い分けもしやすい
* bicikl / 自行车 / 現代標準中国語で「自転車」を最も直接的に表す。日本語話者にも「自転車」と対応関係が明快 / 「自(6画)+行(6画)+车(4画)」計16画だが、中国語としての認知度は高い
* tandem / 双人车 / 「二人用の自転車」をイメージしやすい簡略熟語。「双人～」は日中とも直感的に「2人乗り」を連想可能 / 「双(4画)+人(2画)+车(4画)」計10画でシンプルかつ意味が明快
* fiakr / 马车 / 辻馬車。第7項と同様、馬車系を集約して「马车」で対応 / 上付き文字などで区別運用予定であり、同じ表記「马车」を使い回せるメリットが大きい
* kaleŝ / 马车 / 四輪馬車だが、上に同じく「马车」で表記 / 馬車はすべて「马车」に集約しておくことで学習コストを抑えられる
* kariol / 马车 / 二輪軽馬車だが、同じく「马车」で一括 / 将来的に注釈や上付き記号で細区分すれば良いため、画数・種類を増やさない方針
* vagon / 车厢 / 鉄道車両。中国語で「车厢」はもっとも定着した表現 / 「车(4画)+厢(11画)」計15画とやや多いが、鉄道用語として日中ともに意味が取りやすい
* kamion / 卡车 / トラックの意味で、中国語で一般的な「卡车」を採用 / 画数は「卡(5画)+车(4画)」計9画でそこまで多くなく、「车」を再利用できる
* lokomotiv / 机车 / 中国大陸では機関車を指す一般用語（台湾ではオートバイ意味もあるが、ここでは鉄道の機関車想定） / 「机(6画)+车(4画)」計10画で比較的シンプル
* trajn / 火车 / 「列車」=「火车」(中国で最も一般的な言い方) / 「火(4画)+车(4画)」計8画で、語感も日中双方に分かりやすい
* tram / 电车 / 市街電車は中国語で「电车」が一般的（日常的には路面電車を指す） / 「电(5画)+车(4画)」計9画で明快。日本語の「電車」とも近く認識しやすい
* ĉar/um## / 独轮车 / 手押し車・一輪車タイプの「独輪车」は中国語で「一輪の手押し車」を指す / 画数は多めだが標準的で意味が明確。再利用可能な「车」を含む
* aŭtobus / 巴士 / 中国大陸での正式名は「公共汽车」だが、簡便さ優先で外来語表記「巴士」を採用 / 「巴(4画)+士(3画)」計7画と非常に簡潔で、音からも「バス」を連想しやすい
* aŭt / 汽车 / 自動車全般を指す場合、中国語は「汽车」が一般的 / 「汽(7画)+车(4画)」計11画で、中国語として認知度が非常に高い
* aŭtomobil / 汽车 / 上と同義のため「汽车」で統一 / 同じ語根を上付きや振り仮名などで区別予定なので、意味の重複は問題なし

pneŭmatik

* + 割当: 轮胎
  + 理由: 中国語における「タイヤ」は標準的に「轮胎」。日本語話者も「輪胎」として“車輪のタイヤ”と連想しやすい。
  + 学習コスト:
    - 「轮」(=「輪」の簡体字)と「胎」はいずれも比較的使用頻度の高い字。将来的に「輪(转)」「胎(母胎)」など関連語にも転用可能。

1. pedal
   * 割当: 踏板
   * 理由: 中国語で「ペダル」は「踏板」が最も一般的。踏む(踏)＋板(板)の組合せ。
   * 学習コスト:
     + やや画数はあるが、どちらも比較的よく使われる漢字。日本語でも「踏む」「板」は馴染みがあるため連想しやすい。
2. pivot
   * 割当: 枢
   * 理由: 「枢」(shū) は「中枢」「枢纽」などで「pivot/要・中核」を表す。機械的な回転軸(pivot)を指しうる漢字としても適当。
   * 学習コスト:
     + 単字で画数も比較的少なめ(「木＋区」)。日本語の「枢要」「中枢」と同源で、意味を推測しやすい。
3. lift
   * 割当: 电梯
   * 理由: 中国語で「エレベーター」は「电梯」が一般的。
   * 学習コスト:
     + 「电」は「電」の簡体字、「梯」は日本語でも「梯子(はしご)」から類推可能。すでに広く使われる語で分かりやすい。
4. traktor
   * 割当: 拖拉机
   * 理由: 中国語で「トラクター」は標準的に「拖拉机」。字義的にも「引っ張る(拖/拉)機械(机)」。
   * 学習コスト:
     + 3文字だが、いずれも使用頻度が高い。「机」は今後「机器(機器)」「司机(運転手)」などにも再利用可能。
5. konduktor
   * 割当: 乘务员
   * 理由: 列車やバス等の「車掌・乗務員」に相当する中国語の一つ。「乘务員」は乗客(乘客)に対応する職員をイメージできる。
   * 学習コスト:
     + 「乘」は「乗」の簡体字、「务」は「務」の簡体字、「员」は「員」の簡体字。どれも比較的よく出てくる。今後「乘客」などにも再利用が期待できる。
6. ŝofor
   * 割当: 司机
   * 理由: 中国語で「職業ドライバー」は「司机」が最も一般的。
   * 学習コスト:
     + 「司」は「つかさどる」「指揮・担当する」など広い意味で使われる常用字。「机」は既出(拖拉机)と同じで再利用可。
7. pasaĝer
   * 割当: 乘客
   * 理由: 「乗客」は中国語で「乘客」。日本語の「乗客」とも直結。
   * 学習コスト:
     + 「乘」は上記(乗務員)と同じ、「客」は「顧客」「客室」など汎用。二文字とも比較的に使われる範囲が広い。
8. kamp
   * 割当: 田
   * 理由: 中国語での「田地」(畑・田)を簡潔に1文字で「田」。日本語の「田んぼ」とイメージしやすい。
   * 学習コスト:
     + 画数も少なく、「田」は最も基本的な部首の一つ。将来「田野」などへ応用もしやすい。
9. bivak

* 割当: 营地
* 理由: 中国語では「キャンプ地」を「营地」と言うのが分かりやすい。「露营(キャンプする)」もあるが「露」の画数が多いため、2文字目「地」含め簡明な方を優先。
* 学習コスト:
  + 「营」は「営(営利・営む)」に近い形、「地」は頻出の土地(地)なので学習負担は比較的軽い。

1. dezert

* 割当: 沙漠
* 理由: 中国語で「砂漠」は「沙漠」が基本。日本語でも「砂漠(さばく)」と同義で直感しやすい。
* 学習コスト:
  + 2文字だがいずれも比較的知名度が高い。「沙」は簡体字で画数少なめ。

1. val

* 割当: 谷
* 理由: 「谷」は中国語で「山谷」(山あいの谷)を指し、日本語でも「谷」で通じる。
* 学習コスト:
  + 1文字で意味が通じ、画数もさほど多くない。

1. marĉ

* 割当: 沼泽
* 理由: 中国語で「沼泽(しょうたく)」が標準的な表現(沼＋沢)。単に「沼」だけでも通じる場合はあるが、「沼泽」のほうが自然。
* 学習コスト:
  + 2文字だが、どちらも比較的常見の漢字。「泽」は「沢」の簡体字。「沼」は日本語そのまま「沼」。

1. bran

* 割当: 麸
* 理由: 小麦の「ふすま(麩皮)」を表す際、中国語では「麸」または「麸皮」とも書く。単字化優先で「麸」を採用。
* 学習コスト:
  + ややマイナーだが、麺類・小麦関連で見かける可能性はある。

1. stopl

* 割当: 茬
* 理由: 中国語における「刈り株(切り取った後の株)」は「茬」(残茬)が一般的。
* 学習コスト:
  + 1文字で済むが、日本語ではあまり見かけない字。ただ農作業用語としては中国語圏で定着。

1. ŝpat

* 割当: 铲
* 理由: 中国語で「スコップ/シャベル/スパイド(鋤先)」全般に「铲」(鏟)を用いる。「铁锹」などもあるが1文字化を優先して「铲」。
* 学習コスト:
  + 「钅(金へん)＋産の簡体」構造で、金属製の道具を連想しやすい。

1. pajl

* 割当: 麦秸
* 理由: 「わら」は中国語で「稻草」「麦秸」などが使われるが、ふつう小麦の「わら」は「麦秸」。
* 学習コスト:
  + 2文字だが、「麦」は穀物系で比較的わかりやすく、「秸」も「茎・わら」要素を示す。

1. herb

* 割当: 草
* 理由: 中国語で「草」は日本語でも同形同義。「草(くさ)」全般を表す漢字として極めて基本。
* 学習コスト:
  + 常用字かつ画数も9画でそこまで多くなく、他の草関連語にも利用しやすい。

1. fojn

* 割当: 干草
* 理由: 「干草(干した草)」が「干し草＝hay」を表すのに最も直接的。
* 学習コスト:
  + 「干」は3画、「草」は既出(herb)の再利用。2文字で覚えやすい。

1. sterk

* 割当: 肥料
* 理由: 中国語で「肥料」はそのまま「肥料」。日本語でも同じ表記で馴染みがある。
* 学習コスト:
  + やや画数は多いが、農業関連では極めて基本的。

1. furaĝ

* 割当: 饲料
* 理由: 「飼料」=「饲料」が最も代表的。「饲草」は「飼う草」だが、総称としては「饲料」が通用。
* 学習コスト:
  + 「饲」は「飠(食へん)＋司」の形で、既出の「司」と同系。「料」は「肥料」でも使用しており再利用可。

1. erp

* 割当: 耙
* 理由: 「まぐわ/くわ/レーキ」の類に相当する中国語単字は「耙」。耙地(土地を耕す)という動詞でも使われる。
* 学習コスト:
  + 1文字で済むが、日本語だと馴染みは薄い。農器具としては中国語圏では一般的。

plug / 耕 /  
選定理由: 「耕」は「耕す」「耕作する」の意味をもち、中国語でも「耕地」などで用いられ、「plow, till」のニュアンスを両言語で共有できるため。  
学習コスト: 10画程度と中程度。頻出する漢字であり、日中双方に通じやすい。

1. sark / 除草 /  
   選定理由: 「除草」は文字通り「草を除く」であり、「weed, weed out」を端的に表す。中国語でも日常的に使われる言い方で、日本語話者にも直感的に伝わりやすい。  
   学習コスト: 2文字だが「除」「草」ともに比較的よく使われる。1文字で「锄(クワで除草)」もあるが、日本語での認知度や直観性を考え「除草」を採用。
2. riz / 米 /  
   選定理由: 「米」は日中双方で「お米」「ライス」を示す最も基本的な字。  
   学習コスト: 6画と低め。きわめて高頻度字であり初学者にも学習しやすい。
3. tritik / 麦 /  
   選定理由: 中国語では小麦を含むイネ科穀物を広く「麦」と呼ぶ場合が多く、日本語でも「麦」と書いて小麦や大麦を指す。「wheat」の意味に十分対応可能。  
   学習コスト: 7画と比較的少なく、日中とも基本的な字。
4. sekal / 黑麦 /  
   選定理由: ライ麦は中国語で「黑麦(黒い麦)」と呼ばれることが一般的。日本語でも「黒麦」という表現が通じなくはない(ライ麦パンなどで推測可能)。  
   学習コスト: 2文字。うち「麦」は既出。「黒(黑)」はやや画数が多い(12画)が、頻度も高く学びやすい。
5. gri / 粗粮 /  
   選定理由: 「粗粮」は「coarse grains, grits, 全粒穀物」などを指し、中国語圏で広く通じる言い方。  
   学習コスト: 2文字。「粗」は比較的画数多めだが、「食生活」関連でよく登場し、「粮」は「糧(食糧)」の簡体で日中で共通理解されやすい。
6. gren / 谷 /  
   選定理由: 中国語で「穀物」を表す場合、「谷物」という2文字表現が多いが、一字で「谷」とすることも可能。日本語では「谷=たに」の意味が強いが、中国語の「谷」は「穀物」の意味も持つ。  
   学習コスト: 1文字で済む利点があるが、日本語話者には少し注意が必要。画数は7画。
7. grajn / 谷粒 /  
   選定理由: 「谷粒」は「穀粒(grain kernel)」の意味で、中国語的にも直球の表現。ESで“粒状”“種子状”を表すニュアンスがあるなら「粒」を明示した方が分かりやすい。  
   学習コスト: 2文字。「谷」は既出で再利用。「粒」は11画とやや多いが、“粒子”など汎用性は高い。
8. agronom / 农学家 /  
   選定理由: 「农学家」は「農学＋家(専門家)」で「agronomist(農学者)」に対応。  
   学習コスト: 3文字。いずれも中国語の農業・学問・専門家表現で頻出。「农」は簡体で、「農」の略形だと直感できる日本語話者も多い。
9. agronomi / 农学 /  
   選定理由: 「農学」に相当し、「agronomy」を表す。  
   学習コスト: 2文字。上記「农学家」から「家」を省いただけなので重複分が多く学習効率がよい。
10. vegetar / 素食 /  
    選定理由: 中国語で「素食」は「菜食・ベジタリアン食」の意味が一般的。日本語でも「素食」という仏教用語などがあり、ある程度連想しやすい。  
    学習コスト: 2文字。「素」「食」ともに常用漢字で、意味も直感しやすい。
11. legom / 菜 /  
    選定理由: 中国語の「菜」は「野菜」「料理」を含む広義だが、単独でも「野菜」(vegetables)を指す用法がある。日本語でも「菜(な)」は「青菜」のイメージで通じる。  
    学習コスト: 1文字。やや曖昧だが分かりやすく、画数も11画ほど。
12. burĝ / 中产 /  
    選定理由: 現代中国語では「中产(中産階級)」が「ブルジョワ(中産階級, bourgeois)」を指す略称として定着している。  
    学習コスト: 2文字。「中」は既出と重複の可能性が高いため負担減。「产」は6画とそれほど多くない。
13. hebre / 希伯 /  
    選定理由: 中国語で「ヘブライ」は通常「希伯来」(3文字)だが、簡略的に前2文字「希伯」を取って対応。日本語でも「希伯来」といえばヘブライ由来と推測可能。  
    学習コスト: 2文字。いずれも人名・地名表記で出やすいが、やや画数が多い(希=7画, 伯=7画程度)。
14. humil / 谦 /  
    選定理由: 「谦」(簡体:「謙」の簡化)は「謙虚」「謙遜」を表す中心要素。「謙虚」の一文字目であり、“humble”のニュアンスに直結。  
    学習コスト: 1文字。画数は10画だが、後続の「谦虚」などに転用可能。
15. modest / 谦虚 /  
    選定理由: 「谦虚」は「modest」「控えめな」「慎ましい」の意味合いを日中で共通して持つ。  
    学習コスト: 2文字。「谦」は既出を再利用。「虚」(簡体:「虛」の略)を新しく覚える必要はあるが、日中ともによく見られる。
16. naiv / 天真 /  
    選定理由: 中国語で「天真」は「純粋・無邪気・子供っぽい」を表し、日本語でも「天真爛漫」の熟語で通じやすい。「naive」「無邪気な」に対応。  
    学習コスト: 2文字(「天」4画、「真」10画)。いずれも高頻度。
17. trivial / 俗 /  
    選定理由: 「俗」は「世俗的」「俗っぽい」「下品な」を表す。ここでは「vulgar, trivial」のニュアンスに相当。  
    学習コスト: 1文字、9画。日中で「俗語」「俗世」など幅広く使われるため、汎用性は高い。
18. arogant / 傲 /  
    選定理由: 「傲」(「傲慢」「高傲」など)は「横柄」「傲慢」などの意味を端的に示す一字。  
    学習コスト: 1文字だが画数(12画)はやや多め。とはいえ「傲慢」「自傲」など派生語が豊富で応用しやすい。
19. neŭtr / 中性 /  
    選定理由: 「中性」は文法上の「中性(neuter)」や化学上の「中性(neutral)」など、中国語で広く「ニュートラル」を意味する表現。  
    学習コスト: 2文字。「中」は既出。「性」(8画)は人文・科学でも頻繁に現れる重要字。
20. neŭtral / 中立 /  
    選定理由: 「中立」は「neutral, impartial」を端的に示す常用表現。  
    学習コスト: 2文字。こちらも「中」は既出。「立」(5画)も頻度が高く応用範囲が広い。
21. kripl / 残疾 /  
    選定理由: 中国語で「障害(crippled, disabled)」を表す際の定番表現が「残疾」。日本語話者にも「残」「疾」は漢字から「残る障害」「疾(やまい)」と推測しやすい。  
    学習コスト: 2文字。いずれもやや画数多め(残=10画前後、疾=10画前後)だが、中国語での標準的な表現として価値がある。

invalid / 残 / 「残疾」などの語で“障がい・廃疾”の意を含む / 単一字で画数も比較的少なく、日本語の「残」と近いイメージ

1. blind / 盲 / 「盲目」の意を直感しやすい / 日本語・中国語いずれでも“盲”は視覚障がいの連想が容易
2. surd / 聋 / 「耳が聞こえない」ことを意味する / 簡体字で“聋”は標準表記、日本語の旧字「聾」と対応し連想可能
3. mut / 哑 / 「口がきけない、発声できない」意 / 簡体字“哑”は日本語の「唖」と同系であり、互いに意味を推測しやすい
4. nud / 裸 / 「裸の、むき出しの」意 / 日本語の「裸」と同形で、画数はやや多めだが連想しやすい
5. barbar / 蛮 / 「野蛮・未開」のイメージ / 日本語の「蛮族」と同根、“蛮”のみで概念を想起しやすい
6. sortiment / 品种 / 「品揃え・取り揃え・バリエーション」の意 / 既出の“品”を流用し、新たに“种”を加えて「品種(バリエーション)」を表す
7. ekzempl / 例 / 「例・サンプル・手本」の意 / 単一字で日中ともに“例”は馴染みがあり、画数も少ない
8. specimen / 样品 / 「見本・サンプル」の意 / “样”+既出の“品”で「サンプル品」を表し、学習コストを抑える
9. model / 模型 / 「模型・モデル」の意 / 中国語でも一般的な熟語で、日本語話者にとっても意味を取りやすい
10. prototip / 原型 / 「原型・プロトタイプ」の意 / 既出“型”を再利用し、新たに“原”を加えて分かりやすい表現に
11. konspir / 阴谋 / 「陰謀・たくらみ」の意 / “阴”+“谋”で構成し、次の陰謀関連語とも共有可能
12. intrig / 阴谋 / 「陰謀・企み・画策」の意 / konspir と同じ “阴谋” を流用(上付き番号等で区別予定)
13. komplot / 阴谋 / 「陰謀・共謀」の意 / 同じく “阴谋” を再利用し、学習コストを削減
14. program / 程序 / 「プログラム・手順・処理」の意 / 中国語で一般的な“程序”を採用、ソフトウェア等にも通じる
15. plan / 计划 / 「計画・プラン」の意 / “计”+“划” は画数少なく、中国語圏で計画を表す最も基本的な熟語
16. projekt / 项目 / 「プロジェクト・案件」の意 / 中国語の“项目”はビジネスや開発などで広く使われる
17. manifestaci / 示威 / 「(政治的)デモ・示威行動」の意 / 画数を抑えつつ明確に“抗議デモ”を連想できる熟語
18. spektakl / 演出 / 「ショー・見せ物・公演」の意 / “演”は演技・演奏の連想が容易、“演出”は公演に適合
19. ekspozici / 展览 / 「展覧会・展示」の意 / “展”+“览”での標準表現、見せるイベント全般を想起可能
20. aper / 出现 / 「現れる・出現する」の意 / “出现”は中国語で「出現・登場・起こる」を広く指すため汎用性が高い
21. prezent / 展示 / 「提示・差し出す・プレゼンする」の意 / 既出 “展” と “示” を組み合わせ、学習コストを抑えつつ“見せる・提示”を表現

afekt / 假 / 「見せかける・偽る」を直接表す字。「假装」(pretend)などで使われ、日本語の「仮」にも近い / 画数はやや多め(11画)だが、日本語・中国語ともに“仮・偽”といった意味を連想しやすい

* gest / 手势 / 「身振り(手振り)」の意味を最も直接に表す。「手＝手」「势＝勢(し)」で日本語圏でも類推しやすい / 「势」は他にも「姿势」(後述)で使い回せる可能性あり
* poz / 姿势 / 「ポーズ(姿勢)」を表す熟語。「姿＝姿」「势＝勢」で構成され、日本語話者にも“姿勢”の意味が伝わる / 「势」は既出(手势)なので偏旁の重複利用となり学習コストを多少削減
* kondut / 行为 / 「ふるまい・行動」を表す熟語。「行＝行く/おこなう」「为＝為(する)」で、日本語の「行為」と同系統 / どちらも非常に常用される字なので学習コストは比較的低い
* sin/ten## / 态度 / 「態度」を最も直接に示す熟語。「态＝態」「度＝度」/ 日本語「態度」とほぼ同じで意味を把握しやすい
* impres / 印象 / 「印象」をそのまま表す熟語。「印＝印」「象＝象・かたち」/ 日中ともに非常にポピュラーな組み合わせで学習しやすい
* efekt / 效果 / 「効果」「影響」「印象」のニュアンスのうち「効果・結果」を強調したい場合に適する / 「效＝効」「果＝果」で、日本語の「効果」と類推しやすい
* emoci / 感动 / 「感動」をそのまま表現。「感＝感じる」「动＝動く」/ 日中いずれも「感動」の語感とほぼ同一なのでわかりやすい
* sensaci / 轰动 / 「センセーション(大きな反響・大騒ぎ)」を表す慣用表現。「轰＝轟」「动＝動く」/ 「感動」の「动」を再利用し、学習コストを少し軽減
* simpati / 共鸣 / 「共感・同感」を表す語。「共＝共」「鸣＝鳴」(日本語の「共鳴」に相当) / 中国語でも「共鸣」は「共感・共鳴」全般に使われるため便利
* sent / 感觉 / 「感じる(動詞)」や「感覚(名詞)」両方でよく使われるが、ここでは“(を)感じる”の動詞寄りの用法を想定 / 「感」は既出(感动)だが、「觉＝覚」は本項目で新出
* sens / 感官 / 「感覚(特に五感など)」を示す名詞。「官＝器官」のニュアンスを含み、五感を総称する時などに広く用いられる / 「感」は既出のため、追加の学習負担は「官」のみ
* kandidat / 候选 / 「候補(者)」を意味する言葉。「候选人」が正式だが、短縮して2字で提案 / 「候」も「选」も選挙関連で今後再利用があり得る
* elekt / 选 / 「選ぶ・選挙する」を示す1文字。既に(13)の「候选」で「选」を使っているので共通化 / 字形が日本語の「選」と近く、意味も類推しやすい
* balot / 投票 / 「投票する」を表す熟語。単一字では表しにくいため / 日本語の「投票」と同じ表記(簡体字では同形)
* pet / 请求 / 「頼む・依頼する・求める」を示す表現。「请＝請」「求＝求」/「请」単独では「どうぞ～」「～してください」の婉曲用法もあるため、“正式なお願い”のニュアンスには「请求」が自然
* postul / 要求 / 「要求する」「(強く)求める」。既出の「求」を再利用できる / 「要」自体もきわめて頻出の字なので比較的学習コストが低い
* demand / 问 / 「質問する」を最も簡潔に示す1文字。「问＝問」/ よく使われる基本字で、画数も少ない
* interpelaci / 质询 / [政]「(議会で)大臣に質疑・質問する」などの硬い表現。「质＝質」「询＝詢」/ 公的機関の「質疑応答」の場面で用いられる専門用語
* rekomend / 推荐 / 「推薦する」を示す常用語 / 「推＝押す・すすめる」「荐＝薦(すすめる)」。いずれも比較的頻度が高く、意味も推測しやすい
* propon / 建议 / 「提案する」「提議する」。中国語で「建議」は「提案・提言」とほぼ同義 / 「议」(議)は(19)の「质询」の「询」と同じ「言(讠)偏」を含むため学習面でやや関連付け可
* konsil / 劝告 / 「助言する」「忠告する」の意。「劝＝勸」「告＝告」/ 「アドバイス」「助言」のニュアンスが強い。どちらも基本的な字

konsult / 询 /  
選定理由: 「咨询(zīxún)」の「询」に由来。何かを「相談・問い合わせ・意見を求める」ニュアンスに合致。  
学習コスト: 偏旁「讠(言偏)」を含むが、簡体字で画数が少なく、比較的よく使われる語彙「咨询」に直結するため、意味の連想は容易。

* varb / 招 /  
  選定理由: 「招聘(zhāopìn)」「招募(zhāomù)」など「人を募る・募集する」意味で広く使われる「招」を採用。  
  学習コスト: 画数(約8画)はやや多めだが、日本語でも「招待」「招集」などで馴染みがあり、認知しやすい。
* vok / 呼 /  
  選定理由: 「呼ぶ」「呼びかける」「呼吸(こきゅう)」など、「声を出して呼ぶ」ニュアンスに直結。「呼喊」「呼唤」等、中国語でも“呼”は「声に出して呼ぶ」ことを表す。  
  学習コスト: 偏旁「口」で意味連想がしやすく、日本語圏・中国語圏いずれにも比較的馴染みが深い。
* invit / 请 /  
  選定理由: 簡体字「请(請)」は「招待する」「～してください」と人を招くニュアンスに使われる。中国語で「请客(qǐngkè)」は「客を招いてもてなす、奢る」の意。  
  学習コスト: 「言偏(讠)＋青」でやや画数は多め(合計10画)だが、「請」の簡体字であり、日本語でも「請う(こう)」の形で意味を類推しやすい。
* intervju / 访 /  
  選定理由: 「访问(fǎngwèn)」「采访(cǎifǎng)」「拜访(bàifǎng)」など“訪問”に関わる字。単独の「访」は本来「訪(たず)ねる, 訪問する」の意だが、「インタビュー(取材)」も広義の“訪問して話を聞く”行為と捉え、ここでは便宜的に一文字化。  
  学習コスト: 偏旁「讠(言偏)」の再利用。実際の中国語では「采访」2文字が一般的だが、ここでは重複文字を減らすために「访」を選択。
* preleg / 讲 /  
  選定理由: 中国語で「演講(yǎnjiǎng)」「讲课(jiǎngkè)」「讲演(jiǎngyǎn)」など「(知識的に)講演する」意に対応しやすい。  
  学習コスト: 偏旁「讠(言偏)」を再利用。画数は6画と比較的少なめ。
* lekci / 讲 /  
  選定理由: 上記“preleg”とほぼ同じ理由。「(授業や講義として)講義する」の意味合いにも「讲」が対応しやすい。  
  学習コスト: 「preleg」と同じく「讲」にまとめることで、学習負担をさらに減らせる。
* dialog / 说 /  
  選定理由: 中国語で「说(說)」は「言う、話す」の最も基本的な動詞。「対話」は本来「对话」だが、ここでは話す系統を全て「说」に統合する方針。  
  学習コスト: 偏旁「讠(言偏)」を再利用。最重要かつ汎用度の高い語として多用されるため、一度覚えれば多方面に流用可能。
* babil / 说 /  
  選定理由: 「おしゃべり・雑談」を意味する「babil」だが、雑談も「話す」の一種と見なし「说」に集約。  
  学習コスト: 同上。「说」一文字ですべての“話す”動詞をカバーし、学習負担を軽減。
* parol / 说 /  
  選定理由: 「話す」「発話する」という最も基本的な意味。まさに「说」と一致。  
  学習コスト: 同上(“会話系”を「说」で統一)。
* konversaci / 说 /  
  選定理由: 「会話する」「談話する」という意味合いも「說(说)」に含ませる。  
  学習コスト: 同上。「说」で一括管理。
* polemik / 争 /  
  選定理由: 「論争」「論戦」「激しい対立」を伴うニュアンス。中国語では「论战(lùnzhàn)」「争论(zhēnglùn)」のように“争”が頻出。「争」は「争う」全般をカバー。  
  学習コスト: 画数6画。日本語でも「争う(あらそう)」「争論」で意味を連想しやすい。
* disput / 争 /  
  選定理由: 「口論・紛争・意見のぶつかり合い」の意味を含む動詞/名詞。すでに「polemik」で採用した“争”に集約。  
  学習コスト: 重複利用で学習負担を軽減。
* kverel / 争 /  
  選定理由: 「口論する」「言い争う」のニュアンス。こちらも“争”が直感的。  
  学習コスト: 同上。
* diskut / 说 /  
  選定理由: 「話し合う」「討議する」は必ずしも対立を含まないので、“争”ではなく“话す”側(＝「说」)にまとめる。  
  学習コスト: “言い争い”系を「争」、単なる“話し合い”系を「说」に分けることで若干の意味区別を確保。
* debat / 争 /  
  選定理由: 「(討論や論争の意味が強い)ディベート」は対立的な要素が大きいので「争」。  
  学習コスト: すでに登場済みの「争」を再利用。
* boks / 斗 /  
  選定理由: 「ボクシング(拳で闘う)」という物理的な“闘い”は「战(戦)」よりも日常的・小規模な“格闘・闘う”意味である「斗(たたかう/あらそう)」に集約。中国語で「格斗」「搏斗」「战斗」などの語に登場。  
  学習コスト: 「斗」はわずか4画で「争う」「闘う」を広くカバーできる便利字。
* duel / 斗 /  
  選定理由: 「決闘」は武器を使った直接対決を含み、やはり小規模な“闘い”イメージが強いので「斗」。  
  学習コスト: 「斗」を再利用することで学習負担を低減。
* milit / 战 /  
  選定理由: 「戦争する」「軍事的な大規模戦闘」のニュアンスは、やはり中国語で「战(戰)」が最も端的。“戦争(战争)”“作戦”“战役”などでおなじみ。  
  学習コスト: 9画だが、「戦争」を象徴する字としては妥当。日本語でも「戦う(たたかう)」で馴染みがあり、意味の連想は容易。
* batal / 斗 /  
  選定理由: 「戦う」全般だが、「戦争」ほど大規模でなく、局所的・具体的な戦闘や格闘・争いをイメージするため「斗」に統合。  
  学習コスト: 上記「boks」「duel」と同様に「斗」にまとめる。
* lukt / 斗 /  
  選定理由: 「格闘する」「揉み合う」など物理的な接近戦を含むため、既に採用した「斗」。中国語で「搏斗」「角斗」「格斗」などが該当。  
  学習コスト: 同上。「斗」の再利用。
* spur / 迹 /  
  選定理由: 「足跡」「痕跡」など“跡形・足あと”は「迹(跡)」が分かりやすい。中国語でも「痕迹」「足迹」の形で使われる。  
  学習コスト: 画数9画(「迹」は旧「跡」の簡体形)。日本語の「跡」と近いためイメージもしやすい。

labirint

* + 提案: 迷宫
  + 理由: 中国語で「迷宫」は「迷路・迷宮」の意で広く通じる。日本語話者にも「迷」「宮」のイメージからおおむね連想可能。
  + 学習コスト:
    - 2文字熟語だが、どちらも比較的使用頻度が高く、日本語話者にもなじみがある(「迷」：迷惑・迷信など、「宮」：宮殿・神宮など)。

1. spron
   * 提案: 促使
   * 理由: 「 spur / incite / 刺激する・促す 」のニュアンスに近い熟語。「促進(促)」と「使役(使)」の組み合わせで、“何かを後押しして動かす”イメージを表しやすい。
   * 学習コスト:
     + 「促」「使」ともに使用頻度の高い漢字。ほかの文脈(たとえば「使う」「使用」など)で学習しやすく再利用性も高い。
2. pel
   * 提案: 赶
   * 理由: 中国語で「追いたてる・駆り立てる」の意味をもつ常用単字。たとえば「赶走(追い払う)」「赶牛(牛を追う)」など。
   * 学習コスト:
     + 単体1文字で完結。画数(起筆法によるが6~8画程度)も少なめで習得しやすい。
3. tir
   * 提案: 拉
   * 理由: 中国語で「引く」「引っ張る」を意味する最も一般的な単字。「拉动(牽引する)」「拉面(手延べ麺)」などにも使われる。
   * 学習コスト:
     + 常用字であり、意味を類推しやすい。手偏(扌)を含むため、同系列の動作系動詞と関連づけて覚えやすい。
4. tren
   * 提案: 拖
   * 理由: 「地面をずるずる引きずる」など、“引っ張りながら移動させる”ニュアンスに合致。日本語の「トラック(Truck)」を連想するときの「トラ」(※発音類似)からイメージしてもよいかもしれない。
   * 学習コスト:
     + 「tir=拉」との近縁意味だが、中国語では「拉」と「拖」を明確に使い分ける場合も多いので、区別して割り当て。
5. ramp
   * 提案: 爬
   * 理由: 「爬行(はこう)」=「這う、(四つん這いで)進む」を表す代表的な漢字。
   * 学習コスト:
     + 常用語の「爬山(山に登る)」「爬虫类(はちゅうるい)」にも含まれ、頻度はそこそこ高い。
6. vag
   * 提案: 游
   * 理由: 「さまよう、ぶらつく、散策する」等を広くカバーできる単字。中国語で「游荡(放浪する)」「游历(あちこち旅してまわる)」などにも用いられる。
   * 学習コスト:
     + 後述の「naĝ(泳ぐ)」にも同じ「游」を流用する予定。意味が広いぶん、エスペラント内で使い分ける際は上付き文字等で区別する想定。
7. salt
   * 提案: 跳
   * 理由: 「跳ぶ」「跳躍する」を表す基本的な単字。日本語でも「跳躍」「跳び箱」等の熟語でなじみがある。
   * 学習コスト:
     + 比較的画数は多め(13画前後)だが、中国語では非常に一般的。「跳舞(ダンスする)」「跳槽(転職する)」など頻度は高い。
8. glit
   * 提案: 滑
   * 理由: 「滑る」「滑らかに動く」の意味をもつ代表的な単字。スケートを表す「滑冰」などにも使われる。
   * 学習コスト:
     + さんずい偏(氵)の動詞は多く、「漂」「游」「涉」などとの関連で覚えやすい。
9. plonĝ

* 提案: 跳水
* 理由: 文字通り「飛び込み(ダイブ)」は中国語で「跳水」と表現する。スポーツ競技の「飛込競技」も「跳水」と呼ぶ。
* 学習コスト:
  + 既出「跳」+ 新出「水」の2文字。いずれも画数は少なめ・使用頻度も高い。

1. ŝveb

* 提案: 飘
* 理由: 「空中をふわりと漂う」「風に舞う」などのニュアンスに最適。日本語でいう「漂う(ただよう)」に近いイメージ。
* 学習コスト:
  + 簡体字「飘」は日本語の「飄」よりも画数が減っており、比較的覚えやすい。

1. rem

* 提案: 划
* 理由: 「(船を)漕ぐ」は中国語で「划船」と表現するが、ここでは単字「划」を割り当て。
* 学習コスト:
  + 6画程度でシンプル。ほかに「划算(割に合う)」「规划(プランニング)」などの用法もあり、見かける機会が多い。

1. naĝ

* 提案: 游
* 理由: 「泳ぐ」の中国語は「游泳」だが、単字「游」だけでも“泳ぐ”の意味を含む。「vag(さまよう)=游」と同じ文字を再利用し、学習コストを軽減。
* 学習コスト:
  + 「vag」との共有文字。紛らわしくはあるが、その分「游」1文字を覚えれば「遊ぶ/泳ぐ/さまよう」系をすべてカバーできるメリットがある。

1. vad

* 提案: 涉
* 理由: 「水辺や水の中を歩く」「(水を)渡る」を意味する漢字で、熟語「涉水」で“水を渡る・水の中を進む”を表す。
* 学習コスト:
  + さんずい偏(氵)で水に関連する意味をもつため、「游」「漂」「滑」などとの関連性で覚えやすい。

1. rifuĝ

* 提案: 逃难
* 理由: 「避難・難を逃れる」の意味合いを端的に表す熟語。直訳すれば“逃げて災いを免れる”というニュアンス。
* 学習コスト:
  + 既出の「逃」と新出の「难」。やや画数はあるが、それぞれ非常に頻出度が高い。

1. fuĝ

* 提案: 逃
* 理由: 「逃げる」「逃走する」を表す最も一般的な単字。
* 学習コスト:
  + 単字1文字でシンプル。他の“逃げる系”語根(eskapなど)と共有可能。

1. eskap

* 提案: 逃
* 理由: 「逃れる」「脱出する」の意味も単字「逃」で十分表現可能。
* 学習コスト:
  + すでに「fuĝ=逃」と同じ字を割り当て、学習コストを抑える。上付き文字等で区別予定。

1. ĉas

* 提案: 猎
* 理由: 「狩りをする」の中国語は「打猎」だが、単字で「猎」も“狩猟”の意を直接示す。
* 学習コスト:
  + やや画数(11画程度)はあるが、中国語としては常用頻度が高い。

1. ŝtel

* 提案: 偷
* 理由: 「盗む」「こっそり盗み取る」の意味に最も近い単字。口語でも頻出。
* 学習コスト:
  + 11画程度だが、日常表現(例:「小偷(スリ・泥棒)」)でよく使われるため認知度は高い。

1. rab

* 提案: 抢
* 理由: 「奪う」「略奪する」の意味合いで用いられる代表的な単字(「抢劫(強奪する)」など)。
* 学習コスト:
  + 手偏(扌)の動作系動詞で、画数も7~8画程度。比較的覚えやすい。

1. vund

* 提案: 伤
* 理由: 「傷」「怪我」を表す基本単字。「受伤(負傷する)」「伤口(傷口)」など頻用される。
* 学習コスト:
  + 6画程度と少なく、日常表現でも多用されるため優先度が高い。

1. cikatr

* 提案: 疤
* 理由: 「傷跡」「瘢痕」に対して口語でもっとも一般的なのが「疤」(日本語でいう「かさぶた」「痕跡」含むイメージ)。
* 学習コスト:
  + 9画程度で、単字としてはそこまで多用されないが、意味を想起しやすい。

fend / 裂 / 「割れ目・亀裂」のニュアンスが強いため / 日本語・中国語とも「裂」で「割れる」「ひび」を連想しやすい

1. breĉ / 破 / 「破れる・空いた箇所(破れ口)」のイメージで流用 / 「破口(破れ目)」等の連想も可能
2. difekt / 坏 / 「損傷・傷む」のイメージ / 簡体字「坏」は「壊れる・悪い」の両義を持つため流用しやすい
3. frakas / 碎 / 「粉々に砕く・打ち砕く」に近い / 「粉碎」の「碎」を単独利用で衝撃的破砕を表す
4. romp / 破 / 「壊す・破る」全般に使いやすい / 上記(2)breĉと同字だが用法区別は上付き文字等で対応
5. detru / 破坏 / 「破壊する」(より強いニュアンス)を2文字熟語で明示 / 既出「破」と「坏」の組合せで新字追加を抑制
6. bar / 阻碍 / 「障害・阻むもの」の意 / 2文字で「阻む・妨げる」の意味が明確かつ画数合計も比較的低い
7. obstakl / 阻碍 / 上と同じ熟語を流用 / 「障害物」のニュアンスはサブスクリプト等で区別
8. ĝen / 阻碍 / 「邪魔する」のイメージ / 妨害系を統一して学習コストを低減
9. obstrukc / 阻碍 / 「(通路などを)妨げる」の意 / 同じく「阻碍」で統一
10. ŝtop / 塞 / 「(穴などを)塞ぐ」の最も直接的な1字 / 「堵」や「填」と比べ画数は多いが、単字として認知度高め
11. pane / 坏 / 「故障・動作不良」も「壊れた(坏了)」と表現できる / (3)difektと同字再利用
12. prokrast / 延迟 / 「延ばす・遅らせる」の代表的熟語 / 「延期」よりも画数をやや抑えられる
13. intermit / 间歇 / 「断続的・間欠的」の意 / 中国語で「间歇」(＝間が空く)が自然
14. paŭz / 暂停 / 「一時停止・休止」の意 / 日常的にも「暂停键」(一時停止ボタン)などで馴染みあり
15. halt / 停止 / 「止まる・停止する」の標準表現 / 一語で終止のニュアンスを端的に示せる
16. ĉes / 止 / 「(雨などが)止む・やむ」イメージを簡潔に / 「停止」とは別に、1字で“やむ”を直感的に表現
17. boben / 线圈 / コイル＝「線＋輪(圈)」 / すでに「线」を導入すれば他の“線モノ”でも応用可
18. galon / 饰带 / 装飾用の縁取り(モール)イメージ / 「飾り+帯」で日本語・中国語とも連想しやすい
19. pasament / 饰带 / 上記と同様 / 装飾・縁取り系は同じ熟語でまとめ、学習コスト削減
20. kabl / 线缆 / ケーブル＝「線＋ケーブル(缆)」 / (18)boben同様「线」を再利用
21. stri / 条纹 / 「筋(すじ)・しま模様」の意 / 「条」と「纹」の組み合わせで「ストライプ」を表現

lini/线/「線」の簡体字で直線・ラインに対応/同じ「线」を他の線状語にも使い回せる

strek/线/ストローク(線)の意も広義の「线」で代用/上付き文字等で区別し学習コスト削減

rel/轨/レール(軌道)の意を端的に示す/日本語「軌」と近似し意味推測しやすい

drat/线/針金(ワイヤ)も広義の「線」で表現/既出文字「线」再利用で学習負担軽減

kord/弦/楽器の弦・弦楽の意を明確に示す/他への転用は少ないが意味のわかりやすさ優先

faden/线/糸状のものも「线」で包括可能/既出の「线」を再利用し負担を抑える

ŝnur/绳/縄・綱の意味に最適/比較的画数が少なくロープ系に汎用しやすい

turn/转/回す・回転の基本動作を表す/回転系動詞で再利用でき学習コストを抑制

renvers/倒/倒す・転覆の意味をシンプルに表す/画数はやや多いが直感的に理解しやすい

klin/倾/傾ける・傾斜の意を示す簡体字/日本語「傾」と対応し意味連想が容易

fleks/弯/曲げる・湾曲を表す際に適切/「曲」より動作感があり汎用性も高い

volv/卷/巻く・巻き上げる行為に対応/後続の「rul」でも共用可能で学習量軽減

fald/折/折り畳む・折る意味を端的に示す/単独で成立する常用字かつ画数も比較的少ない

cirkul/循环/循環を示す一般的熟語/「环」は他の語根でも再利用可能

rivolu/回转/回転・旋回などを示す二字熟語/既存の「回」「转」で構成し学習を効率化

rul/卷/転がす・巻物の意を「巻く」の字で代用/既出「卷」で区別は上付き文字対応

rul##/卷/上記と同意/意味区分は上付き文字等で調整

rad/轮/車輪を示す簡体字/日本語の「輪」と近く、意味が推測しやすい

ring/环/輪・環を表す簡体字/「循环」の一部でもあり重複利用で学習負担軽減

turb/陀螺/こま(独立名詞)の標準的表記/やや画数多いが他に一般的単字がない

ŝiling/先令/シリングを指す既存表記/外国通貨名なので二字熟語を採用

dekliv/坡/斜面・坂を示す簡体字/「斜」より画数少なめで汎用度も高い

krut / 陡 /  
選定理由: 「険しい」「急な」という意味を端的に表す常用字で、日中で「急峻さ」をイメージしやすい。  
学習コスト: 偏旁「阝(阜)」は他の語彙にも転用可能性があるが、画数がやや多め(合計8画)なので要注意。ただし「峭」や「峻」などよりは画数が少なく、意味も分かりやすい。

1. oblikv / 斜 /  
   選定理由: 「斜め」「傾斜」を表す代表的な漢字。日本語の「斜め」と形が近く、イメージしやすい。  
   学習コスト: 画数(11画)は中程度だが、偏旁の「斜」は中国語でも「斜め」「傾斜」を示す基本的な字で汎用性は高い。
2. kontur / 轮廓 /  
   選定理由: 「輪郭」「アウトライン」を表す最も一般的な2字熟語。「轮」(車へん)＋「廓」(広＋郭)の組み合わせで、意味が正確。  
   学習コスト: 単一漢字で「輪郭」を示す字は存在せず、熟語での割当必須。「轮」は比較的使用頻度が高い一方、「廓」は画数(13画)が多め。必要なら後で別語にも「广(まだれ)」などを流用可能。
3. kurb / 曲 /  
   選定理由: 「曲がる」「湾曲する」を表す基本字。「曲線」を一字で示す場合にも用いられやすい。  
   学習コスト: 画数(6画)は少なめ。「曲」は「歌・音楽」のイメージもあるが、意味の幅が広いため上付き文字などで区別予定。
4. ark / 弧 /  
   選定理由: 「弓形」「円弧」を示す代表的な単字で、理数系でも使われる。  
   学習コスト: 画数(9画)は中程度だが、「弧」は「弓形」を直接表すため覚えやすい。
5. konkav / 凹 /  
   選定理由: 「凹(へこ)む」「くぼんだ」を表す最も直接的な漢字で、簡潔明瞭。  
   学習コスト: 画数(5画)が少なくシンプル。「凹凸」の対で学習されることが多く、把握しやすい。
6. fald## / 折 /  
   選定理由: 「折り目」「折りたたむ」を示す際の基本字。「叠(畳む)」もあるが、日本語的にも「折」の方が馴染みがある。  
   学習コスト: 画数(7画)は中程度。部首「扌(手へん)」の変形などとは別扱いだが、他の折関連の動詞にも応用可能。
7. pec / 片 /  
   選定理由: 「片(かた)まり」「切れ(きれ)」「1片」を直接表す常用字。日本語の「一片」や中国語の「片」に通じる。  
   学習コスト: 画数(4画)で比較的少ない。すでに「薄片」「碎片」など他の熟語にも含まれやすいため、再利用性が高い。
8. blok / 块 /  
   選定理由: 簡体字「块」は「塊(かたまり)」の意味で最も一般的。金額や地塊など幅広く使われる。  
   学習コスト: 画数(7画)で中程度。「土(つちへん)」の応用漢字として再利用も期待できる。
9. split / 薄片 /  
   選定理由: 「(木・石・金属などの)薄い破片」「削ぎ取った薄片」を指す表現として「薄片」が比較的適切。  
   学習コスト: 「薄(16画)」＋「片(4画)」＝合計20画とやや多いが、「薄片」は日中ともに「薄い切れ端」を連想しやすい。
10. fragment / 碎片 /  
    選定理由: 「断片」「破片」を示す代表的な熟語。「碎片」は「こまぎれになった破片」を広く指す。  
    学習コスト: 「碎(9画)」＋「片(4画)」＝13画。すでに「片」を使用しているため、追加負担は「碎」のみ。
11. stump / 树桩 /  
    選定理由: 「切り株」は中国語で「树桩」が一般的。単字「桩」だけでも「杭/柱/株」の意味はあるが、「树桩」の方が明確。  
    学習コスト: 「树(7画)」＋「桩(10画)」＝17画でやや多め。ただし「树」は後述の「树干」にも使えるため再利用可能。
12. trunk / 树干 /  
    選定理由: 「木の幹」「胴体部分」を指す標準表現が「树干」。単字「干」だけでは曖昧になりやすいため2文字熟語に。  
    学習コスト: 「树(7画)」＋「干(3画)」＝10画。すでに「树」を使うので追加は「干」のみ。
13. branĉ / 枝 /  
    選定理由: 「枝(えだ)」を表す基本字。日本人にも意味が伝わりやすい。  
    学習コスト: 画数(8画)で中程度。木へん「木」関連の漢字として幹・枝・葉との関連も学習しやすい。
14. verg / 细枝 /  
    選定理由: 「細枝」「小枝」を表す常用的な組み合わせ。「枝条」もあるが「細」が「細い」というイメージを直接伝える。  
    学習コスト: 「细(8画)」＋「枝(8画)」＝16画。既出の「枝」を再利用し、新規は「细」のみ。
15. foli / 叶 /  
    選定理由: 「葉」を意味する簡体字。日本語の繁体「葉」と形が異なるが、「叶子」で「葉」を意味することは広く知られている。  
    学習コスト: 画数(5画)と比較的少ない。木偏ではないが、樹木関連でよく使われる。
16. lob / 叶 /  
    選定理由: 解剖学上の「葉(よう)」（肺葉・脳葉など）に、中国語では「～叶」と表すことが多い。「瓣」もあるが「瓣」は「花びら・弁膜」に偏りがち。  
    学習コスト: 「foli」と同じ字を敢えて流用し、上付き文字等で区別予定。新規負担ゼロ。
17. riĉ / 富 /  
    選定理由: 「金持ち」「豊かな」を表す代表的な単字。「财富(財富)」「富裕」など関連表現も豊富。  
    学習コスト: 画数(12画)は多めだが、意味が直感的で日中ともに認知度が高い。
18. abund / 丰富 /  
    選定理由: 「豊富」「有り余るほど多い」の意味として最も一般的な表現。単字「丰」はあまり単独では使わないため、熟語形が妥当。  
    学習コスト: 「丰(4画)」＋「富(12画)」＝16画。すでに「富」を採用しているので、「丰」のみが新規。
19. sat / 饱 /  
    選定理由: 「満腹」「十分に食べている」の意味に直結する常用字。「饱了(お腹がいっぱい)」などの形でも使われる。  
    学習コスト: 画数(8画)。食へん「饣」の字形は他の「饮(飲)」「饭(飯)」などとも共通し覚えやすい。
20. kontent / 满足 /  
    選定理由: 「満足している」「心が満たされる」の意を表す一般的な2文字熟語。「满意」とも近いが、「满足」の方が「足(足りる)」のニュアンスを含み、次の「足(十分な)」とも関連。  
    学習コスト: 「满(12画)」＋「足(7画)」＝19画。新規は「满」のみで、「足」は後述の再利用が可能。
21. sufiĉ / 足 /  
    選定理由: 「十分な」「足りる」を単字で最も端的に表せる。「足够」という2文字熟語もあるが、簡潔さ優先で単字を採用。  
    学習コスト: 画数(7画)。既に「满足」に出てくる「足」と同一字をそのまま再利用。

### 1) perfekt

nginx

Copy

perfekt / 完 / 「完全」「完了」のイメージが強い漢字であり、日本語・中国語両方で「完璧」「完成」などに通じる点が選定理由。 / 画数が少なく、他の語でも再利用が見込まれる(例：「完成」「完了」など)ため学習コストも比較的低い。

* 理由: 「完」は「完全」「完了」などを連想しやすく、“完璧に近い”ニュアンスが伝わりやすい。
* 学習コスト: 画数(7画)もそこそこ少なく、意味想起もしやすい。

### 2) plen

nginx

Copy

plen / 满 / 「満ちる」「いっぱい」を直接示す代表的な簡体字。 / 日本人にとっても「満タン」「満足」などを連想しやすく、中国語でも頻出するため学習コストが低い。

* 理由: 「満」は“満たす”“一杯である”を直接表す頻出字。
* 学習コスト: 12画だが、日常中国語で非常に頻出。「満足」「满足」などで日本語話者にもイメージが掴みやすい。

### 3) komplet

nginx

Copy

komplet / 全 / 「全て」「完全」のニュアンスをシンプルに1文字で示せる。 / 画数も少なく、頻度も高い。「全部」「全面」などに用いるため学習コストが低い。

* 理由: 「全」は「完全」「全部」「全体」など多数の熟語に入り、完備・完全集合などのイメージが強い。
* 学習コスト: 6画と比較的少ない。日本語圏・中国語圏双方で「全部」「全員」など非常に頻出。

### 4) ŝarg

lua

Copy

ŝarg / 充 / 「充電」「充満」など“(電気などを)チャージする”“(中身を)満たす”という意味に近いため。 / 画数は6画で少なく、他の熟語にも転用しやすい。

* 理由: 「充」は現代中国語で「充电(充電)＝チャージする」のほか、「充满(充満)＝いっぱい満たす」にも使うため、“装填・チャージ”のイメージをカバーできる。
* 学習コスト: 割と基本的な漢字で、電池の充電など日常生活にも馴染みがあり、日本語からも連想しやすい。

### 5) ŝarĝ

Copy

ŝarĝ / 负 / 「負担」「負荷」で用いられる漢字。名詞として「荷重」「重荷」のニュアンスをもつ。 / 画数は5画で非常に少なく、よく使われる部首・偏旁なので学習もしやすい。

* 理由: 「負」は“背負う”というイメージが強く、中国語の「负担(負担)」「负荷(負荷)」などで“荷重／重荷”を表す。
* 学習コスト: 5画と少なく、意味合いも「担う」「背負う」として把握しやすい。

### 6) plus

nginx

Copy

plus / 加 / 算術の「プラス」を表すのに最も直感的な簡体字。 / 日本語・中国語いずれでも「加法」「加算」などで用いられ、学習コストが低い。

* 理由: 単純に「足す」イメージ。「加号(＋)」とも直接対応。
* 学習コスト: 5画で少なく、「加減」「参加」「追加」など例が多い。

### 7) suplement

nginx

Copy

suplement / 补 / 「補う」「追加する」を示すのに基本的かつ画数が少ない。 / 高頻度字で、既出や今後の用例にも転用しやすい。

* 理由: 中国語の「补充(補充)」「增补(増補)」などに使われる常用字。
* 学習コスト: 7画で多くはない。意味・使われ方も「追加で何かを埋める」イメージが直感的。

### 8) komplement

nginx

Copy

komplement / 补 / 文法的な「補語」(补语)を指す漢字としても「补」が入るため、同じ字を使い回せる。 / 同字を使うことで学習コスト削減。

* 理由: 「补语」(補語)の中国語表現にそのまま入る漢字。「補足」とも関連が深い。
* 学習コスト: すでに「suplement」で出した「补」を再利用しているため、新規学習負担は増えない。

### 9) rikolt

nginx

Copy

rikolt / 收 / 「収穫」「収割」を表すときに最も基本となる漢字のひとつ。 / 「收割(収割)」「收获(収穫)」などで使われ、学習しやすい。

* 理由: 「収」は“収める”“刈り取る”などの動きをイメージしやすい。
* 学習コスト: 6画。中国語でも「收」自体は高頻度で、派生語も多い。

### 10) kolekt

nginx

Copy

kolekt / 集 / 「集める」「集合」を1文字で端的に表せる。 / 「合集」「集中」「收集(収集)」など他の熟語でも頻出。

* 理由: 中国語でも「收集(収集)」「集合」「聚集」など、“集める”に直結。
* 学習コスト: 12画だが、日本語でも「集まる・集める」で馴染みが深い。派生熟語が多く実用的。

### 11) abstrakt

nginx

Copy

abstrakt / 抽象 / 「抽象的」の直訳として使われる2文字熟語。 / 単独1文字で「抽」や「象」だけでは伝わりにくいため2文字割当。常用熟語なので学習価値は高い。

* 理由: 中国語でも「抽象」(chōu xiàng)はそのまま“abstract”の意。日本語でも「抽象」は頻出。
* 学習コスト: 2文字だが、どちらも比較的よく使われる字。日本語にも全く同じ形・意味の熟語がある。

### 12) resum

nginx

Copy

resum / 摘要 / 「要約」「概要」を表す最も代表的な2文字熟語。 / 他にも「总结」「概括」などがあるが、見慣れた「摘要」を採用。どちらも常用字。

* 理由: 「摘要」＝サマリー・要旨を示す中国語として定番。「要約」のイメージとも近い。
* 学習コスト: 「摘」は“つまむ/抜き出す”、「要」は“主要/大切”のニュアンスで、日本語でも理解しやすい。

### 13) afiks

nginx

Copy

afiks / 缀 / 文法用語「词缀(語の接辞)」に用いられる核心字。 / 1文字で「付け加える」「縫い合わせる」のニュアンスがあり、詞缀の「缀」を採用。

* 理由: 中国語でプレフィックス・サフィックスを総称する語が「词缀」。その中心漢字「缀」を選択。
* 学習コスト: やや見慣れない字かもしれないが、中国語での文法用語には頻出。日本語でも「綴(つづ)る」と同源を連想できる。

### 14) apozici

nginx

Copy

apozici / 同格 / 文法用語「同格」をそのまま2文字熟語に。 / 「同」は既出(同化など)と統一感があるため学習コストを少し抑えられる。

* 理由: 中国語でも「同位语」(同位語)や「同格结构」などで「同格」は比較的通じる表現。
* 学習コスト: 「同」は再利用可だが「格」は初登場。とはいえ文法用語としてはベーシック。

### 15) konjugaci

nginx

Copy

konjugaci / 变位 / 動詞活用を示す「変位」という文法用語を使用。 / 「动词变位」ともいうが、なるべく文字数を抑えて2文字にした。

* 理由: 中国語で「动词变位(動詞の変化)」という用語があるが、簡略形として「变位」を選択。
* 学習コスト: 「变」と「位」はいずれも比較的高頻度。日本語でも「変化」「位置」で見覚えがある。

### 16) konjunkci

nginx

Copy

konjunkci / 连词 / 文法用語「接続詞」の中国語訳にあたる「连词」を採用。 / 「连」は“つなぐ”、「词」は“言葉”で、学習しやすい。

* 理由: 中国語で“接続詞”を「连词」と言うのが一般的。
* 学習コスト: 「连」は初登場だが画数(7画)は多くない。「词」は同じく7画ほどで、中国語学習でも基本語彙。

### 17) asimil

nginx

Copy

asimil / 同化 / 「同化する」をストレートに表す2文字の常用熟語。 / 既出の「同」で意味連想を容易にし、「化」は中国語の頻出字で学習コスト低。

* 理由: 中国語で“同化(する)”はそのまま「同化」。日本語でもまったく同じ表記・意味。
* 学習コスト: 「同」は再利用、「化」は非常に頻出でさまざまな語に登場する。

### 18) aneks

nginx

Copy

aneks / 并 / 「兼并」「合并」など“併合”を表す際に用いられるコア字。 / 「兼并」より短く、学習コストも低い。

* 理由: 「并」単独はやや広義の“まとめる/合わさる”を意味するが、「併合」「合并」などの中心要素でもある。
* 学習コスト: 6画で比較的少なく、既出の「合」「同」などとも機能的に関連があり覚えやすい。

### 19) feder

nginx

Copy

feder / 联 / 「联盟」「联邦」など“連合・連邦”を示す代表的な簡体字。 / 厳密には「联邦」が正訳だが1文字に簡略化し、学習コスト低減。

* 理由: 中国語で“連合”を示す場合に「联盟」「联络」など「联～」が頻出。日本語「連合(れんごう)」とも部首イメージが似ている。
* 学習コスト: 6画。「联邦」にも使われる字だが、1文字ですませることで負担削減。

### 20) sintez

nginx

Copy

sintez / 合成 / 「合成(する)」をストレートに表す2文字熟語。 / 「合」は画数が少なく、すでに他語根でも使用する可能性大で学習しやすい。

* 理由: 中国語でも“合成”は日常的に化学や音声技術等で使われる。
* 学習コスト: 「合」は4画と少なく、有用度が高い。「成」(6画)もよく使う字なので比較的覚えやすい。

### 21) miks

nginx

Copy

miks / 混 / 「混合」「混ぜる」を簡潔に示す頻用漢字。 / 画数(11)はやや多めだが、「混合」「混乱」など派生語が多く学習価値は高い。

* 理由: そのまま「混ぜる」「ミックスする」の感覚。「混合」で使われるコア字。
* 学習コスト: 11画と中程度だが、「水偏＋昆」で構成され、日本語でも「混雑」「混ぜる」で馴染みがある。

### 22) kombin

nginx

Copy

kombin / 合 / 「合わせる」「組み合わせる」をシンプルに1文字で表現。 / 既出の「合成」「合并」などとも関連し、一貫性を高められる。

* 理由: 動詞として“組み合わせる”イメージをもつ。「组合」(組合)などにも登場。
* 学習コスト: 4画で非常に少なく、多用される字なので学習もしやすい。

sum / 合 /

* + 選定理由: 中国語では「合计(合せ計算する)」など「合」が「まとめる・合わせる・合計する」のニュアンスを持つため。「合」は日本語でも「合わせる」「合計(ごうけい)」の語感に近く、両言語話者とも連想しやすい。
  + 学習コスト等: 筆画数は6画と比較的少なく、他にも「合同(ごうどう)」「組合(くみあい)」など日中で共通する熟語が多いため、汎用性が高い。

1. op / 共 /
   * 選定理由: 「共」は「共同」「公共」「共通」など、「一緒に」「集合的に」という感覚を表す漢字。エスペラントの接尾辞「-op」(集合数)のイメージに合致する。
   * 学習コスト等: 6画と少なめ。日本語でも「共(とも)」「公共(こうきょう)」などで意味が推測しやすい。
2. svarm / 群 /
   * 選定理由: 中国語・日本語ともに「群」は「群がる」「群衆」「群集」「群れ」など「(動物・人・モノなどが)群れ・集団を成す」意味を直感的に伝えられる。
   * 学習コスト等: 画数はやや多い(13画前後)が、両言語とも基本的な漢字として認知されている。
3. kolektiv / 集体 /
   * 選定理由: 中国語で「集体」は「集合的・団体としての・集団の」という意味。エスペラントの「kolektiva(集合的な)」に対応しやすい。
   * 学習コスト等: 2文字熟語だが、日本語でも「集団(しゅうだん)」「体(からだ)」を連想できる。「集」自体は他の割当(amas など)でも出現する見込みがあるため、偏旁の重複利用に役立つ。
4. amas / 集 /
   * 選定理由: 「amas」は「大衆・大量・積み重なったもの」等を表すが、単に“多く集まった”イメージとして「集」を採用。
   * 学習コスト等: 「集」は(4)の「集体」などとも重複しており、すでに出てくる偏旁の再利用が可能。画数は12画と中程度だが、日中双方に馴染み深い。
5. amas## / 集 /
   * 選定理由: 上記「amas」と同義のため同じ割当を再利用。
   * 学習コスト等: (5)と同一。
6. grup / 群 /
   * 選定理由: 「grup」は単に「グループ」の意味であり、中国語の「群」も“集団・群れ”を指す。本来「组(組)」「群」など選択肢はあるが、(3)や(8)などと同じ漢字を使い回して学習コストを下げる。
   * 学習コスト等: 既出(3)「群」を再利用。
7. ar / 群 /
   * 選定理由: エスペラントの接尾辞「-ar」は「集団・まとまり」を意味する。これも「群(ぐん)」が持つ集合的ニュアンスと合うため転用可能。
   * 学習コスト等: すでに「群」は上記(3)(7)で採用済みのため、新しい文字を増やさないメリットが大きい。
8. imit / 仿 /
   * 選定理由: 中国語の「仿(模仿)」は「まねる、模倣する」という意味であり、「imiti(模倣する)」に対応。
   * 学習コスト等: 6画と比較的画数も少なめ。日本語ではやや馴染みが薄いが、「模倣」などからの連想は比較的容易。
9. analog / 似 /

* 選定理由: 厳密には中国語で“アナログ(類推的)”を表すなら「模拟」「类比」などもあるが、学習コストを下げる目的で「似(にる)」＝「類似・似ている」へ単純化。
* 学習コスト等: 7画。次項「analogi」、さらに「simil」との兼用も可能で、同一漢字＋上付き文字などで区別する方針に合致。

1. analogi / 似 /

* 選定理由: (10)と同根。「類比・類推」を指すが、同じく「似」を再利用して、実質的には「類似」を想起しやすくする。
* 学習コスト等: すでに(10)で出現。

1. simil / 似 /

* 選定理由: 「simil」は「似ている、類似した」意味なので、「似」がもっとも端的に「似る/類似」を表せる。
* 学習コスト等: (10)(11)と同様、同一文字を再利用。

1. egal / 等 /

* 選定理由: 「egal」は「等しい・平等な」。中国語では「相等」「平等」、日本語でも「等しい」を「等(とう)」で連想可能。
* 学習コスト等: 12画とやや多めだが、「等号」「等価」など日中ともによく使われる。

1. sam / 同 /

* 選定理由: 「同じ」の意味は、漢字「同」によって日中双方で直接イメージできる。
* 学習コスト等: 6画で比較的シンプル。「同意」「同時」など汎用性が高い。

1. ident / 同 /

* 選定理由: 「ident」は「同一の、全く同じ」の意。14番「sam」とほぼ同義なので、同じ「同」を使い回し可能。
* 学習コスト等: 新たな文字を増やさず、(14)と同一文字で対処。

1. kontrast / 对比 /

* 選定理由: 「对比(対比)」はまさに「コントラスト」「対照」の意。日本語の「対比」に相当し、漢字から意味を直感しやすい。
* 学習コスト等: 2文字熟語。「对」(5画)・「比」(4画)ともに比較的少画数。

1. relativ / 相对 /

* 選定理由: 中国語で「相对」は「相対的」「比較的」という意味合い。日本語の「相対的(そうたいてき)」に近く、理解しやすい。
* 学習コスト等: 2文字で「相(9画)」「对(5画)」。すでに「对」は(16)で使用済みなので、一部重複がある。

1. kompar / 比较 /

* 選定理由: 「比較する」の中国語は「比较」が最も一般的。日本語の「比較」と同語源(ただし簡体字で「较」は「較」の略体)。
* 学習コスト等: 「比」(4画)は(16)と重複、「较」(6～7画)は新出だが、ごく常用字。

1. apog / 支 /

* 選定理由: 中国語の「支」には「支える」「支持する」などの意味があり、「apogi(支持・支援)」に対応可能。
* 学習コスト等: 4画とかなり少なく、「支持(しじ)」「支店(してん)」など日中双方に多用される語でもある。

1. help / 助 /

* 選定理由: 「助」は「助ける」「助手」「援助」など、直接「助力・手助け」を示す。
* 学習コスト等: 7画。日本語では「助(たす)ける/じょ」、中国語でも「帮助」の一部などで馴染みが深い。

1. asist / 助 /

* 選定理由: 「asisti(補佐・助ける)」は「help」とほぼ重なるため、同じ「助」を再利用。
* 学習コスト等: (20)と同じ文字にすることで新規漢字を増やさない方針に合致。

1. konsent / 同意 /

* 選定理由: 中国語・日本語いずれも「同意」は「同じ考えをもつ・賛成する・承認する」という意味で一致。「合意」とも近いが、中国語では「同意」のほうが一般的。
* 学習コスト等: 2文字で「同」(既出)＋「意」(新出13画)。ただし「意」は非常に頻度の高い字で、派生利用の可能性もある。